

追加ボーリング調査結果 ・地質総合解析の見直し 及び 水質分析結果

令和4年7月2日

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会
事務局

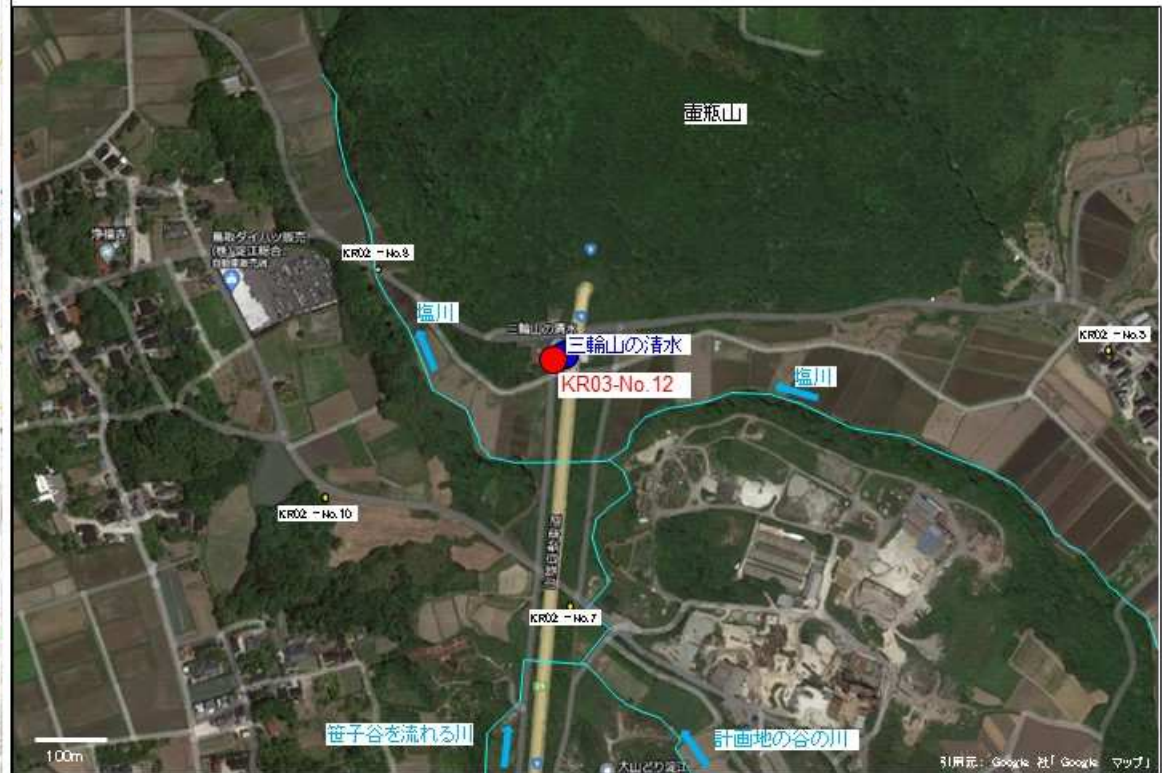
1. 追加ボーリング調査結果

追加ボーリング調査の考え方

※第8回調査会資料62

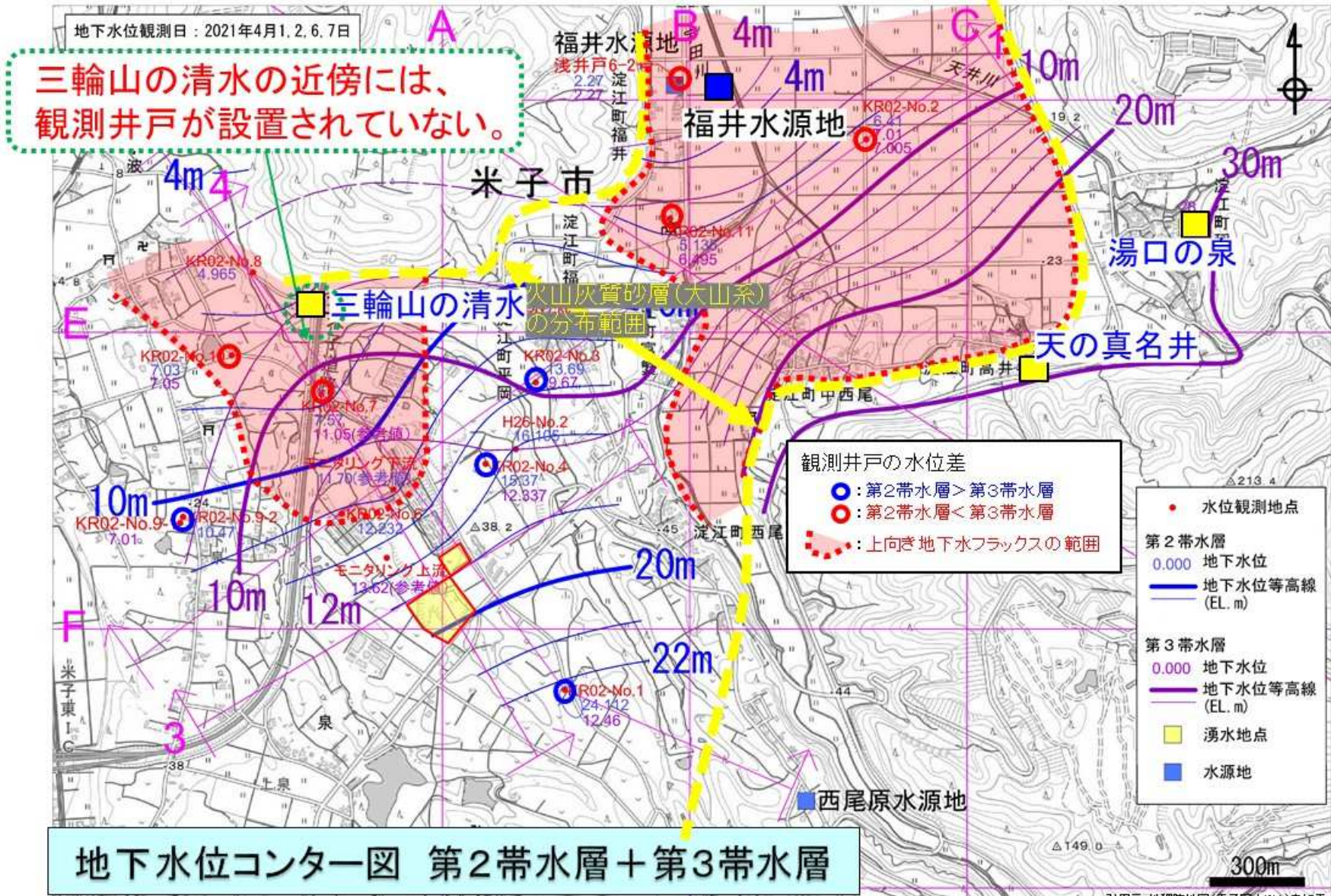
【目的】

『三輪山の清水』近傍で追加ボーリング調査を実施し、地質及び地下水の水位、水質を把握して、水理地質構造を明らかにする。



追加ボーリング調査の考え方

※第8回調査会資料p28に加筆



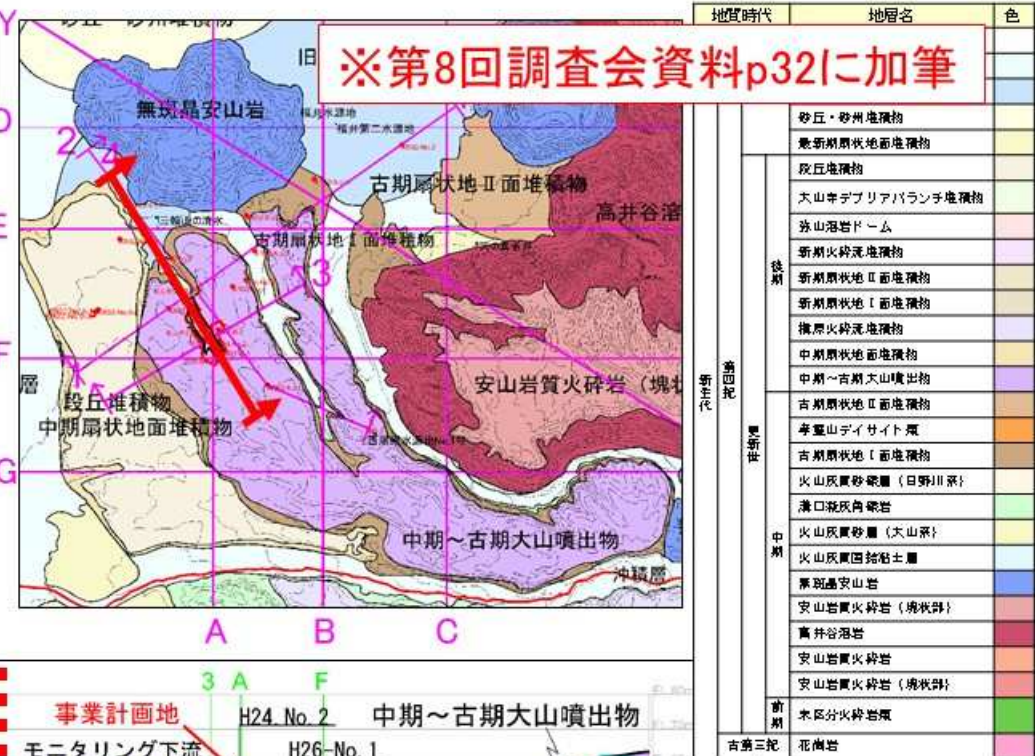
追加ボーリング調査の考え方

三輪山の清水付近は、大山からもたらされた土石流堆積物や溶岩類、壺瓶山の無斑晶安山岩、火山灰質砂礫層（日野川系）の分布境界に位置し、塩川などの河川の下刻により、その地下構造は複雑。
※谷を通るように、地形を一部修正した概念図

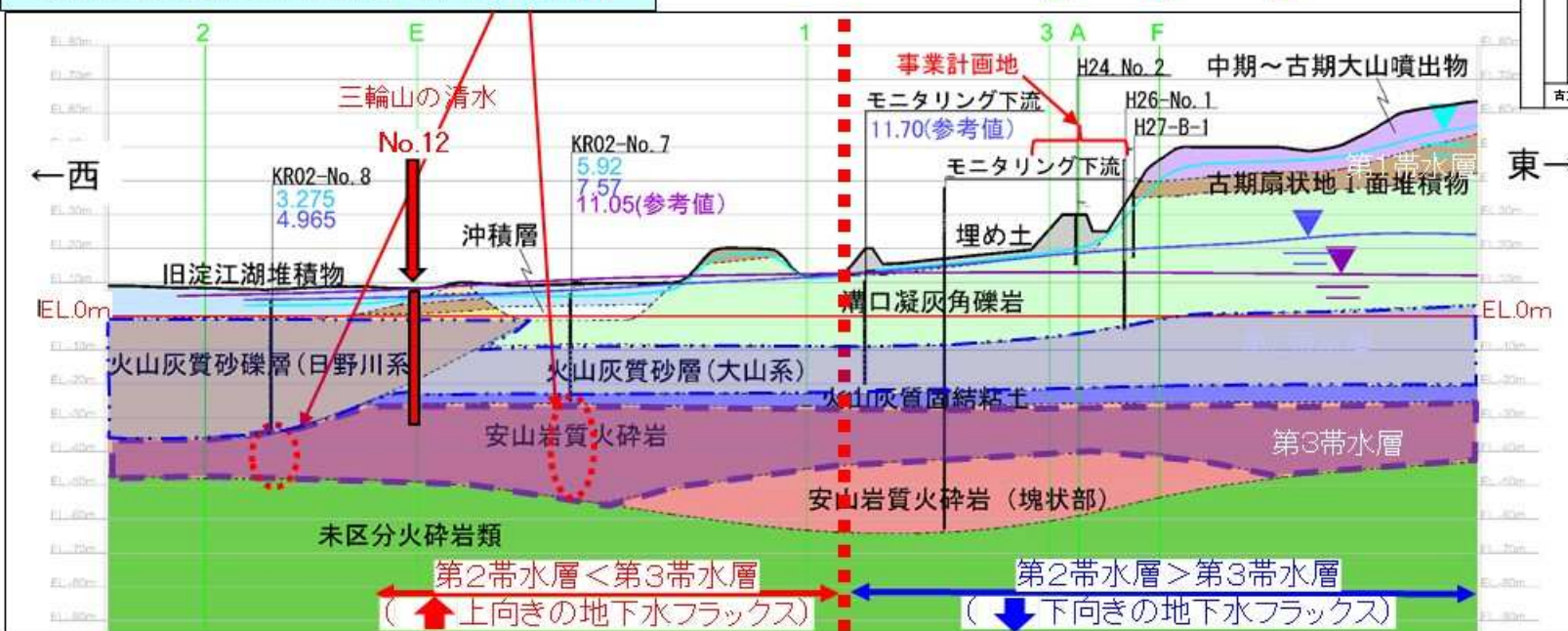
- ▼ 第1帯水層水位(EL.m)
 - ▼ 第2帯水層水位(EL.m)
 - ▼ 第3帯水層水位(EL.m)
- ボーリング孔番
 第1帯水層水位(EL.m)
 第2帯水層水位(EL.m)
 第3帯水層水位(EL.m)

三輪山の清水の上下流に位置するNo.7孔, No.8孔には、第3帯水層の観測井戸が設置されていない。

※第8回調査会資料p32に加筆

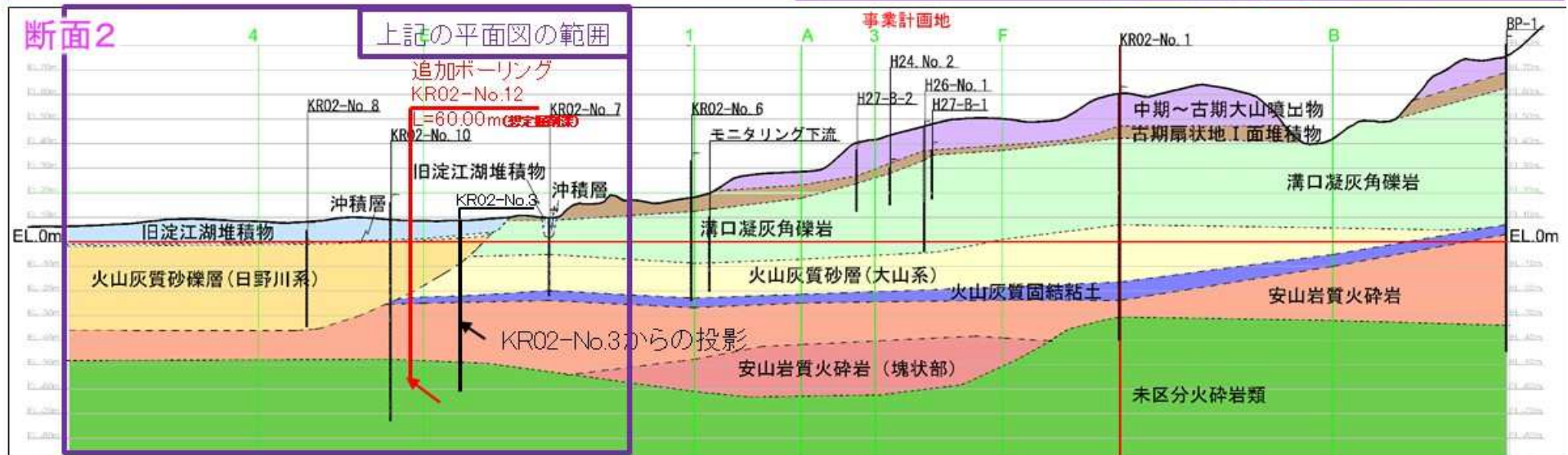


水理地質断面図(断面4※)南北断面



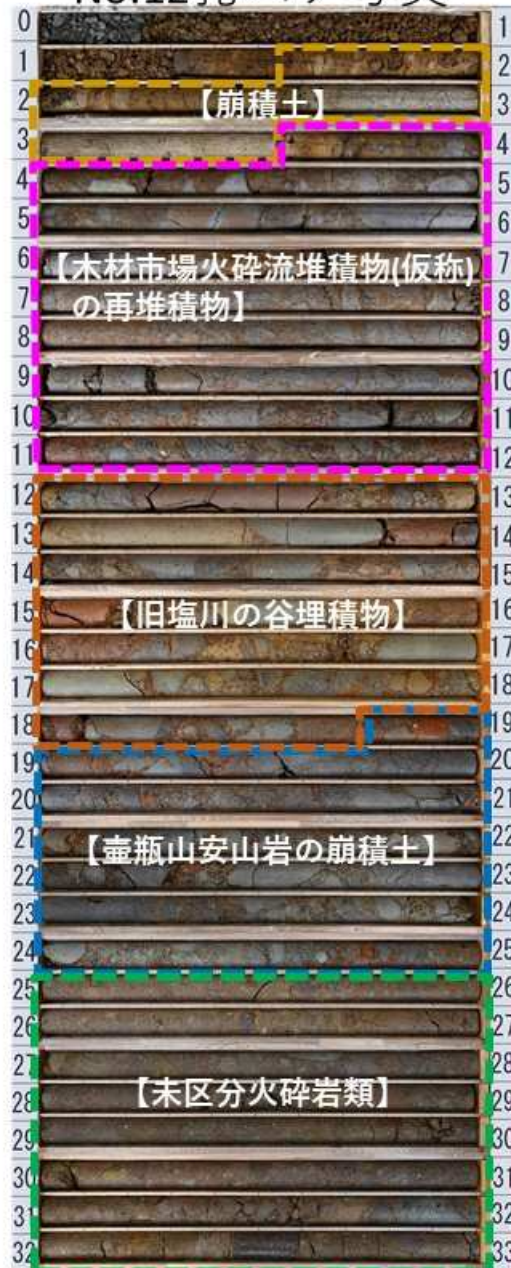
追加B₀前に想定していた地質分布

- 火山灰質固結粘土層の連続性を確認
- 無斑晶安山岩(壺瓶山)の広がりを確認
- 「第3帯水層(安山岩質火砕岩)」の底(未区分火砕岩類)を確認



追加B₀調査の結果 ～ボーリングコア写真と地質状況～

No.12孔 コア写真



5m 【木材市場火砕流堆積物(仮称)の再堆積物】
岩塊やマトリックスの色は、木材市場火砕流堆積物によく似ているが、礫分が極端に多く、マトリックスは火砕流本体の火山灰ではなく、雑多な礫や砂・泥を含む土石流堆積物の特徴を示す。このことから、本層は木材市場火砕流(仮称)堆積後に上流側で発生した土石流が、塩川の谷を流れ下り、マトリックスの火山灰(粉)の部分は流れ去り、礫径の大きな岩塊や礫分が残ったことにより、礫分が多く堆積したもの、ではないかと推察した。壺瓶山の南側に小規模に分布し、現塩川の削剥を免れた削り残しの堆積物と考えられる。マトリックスは密実で隙間がなく、**難透水層**と評価。

10m

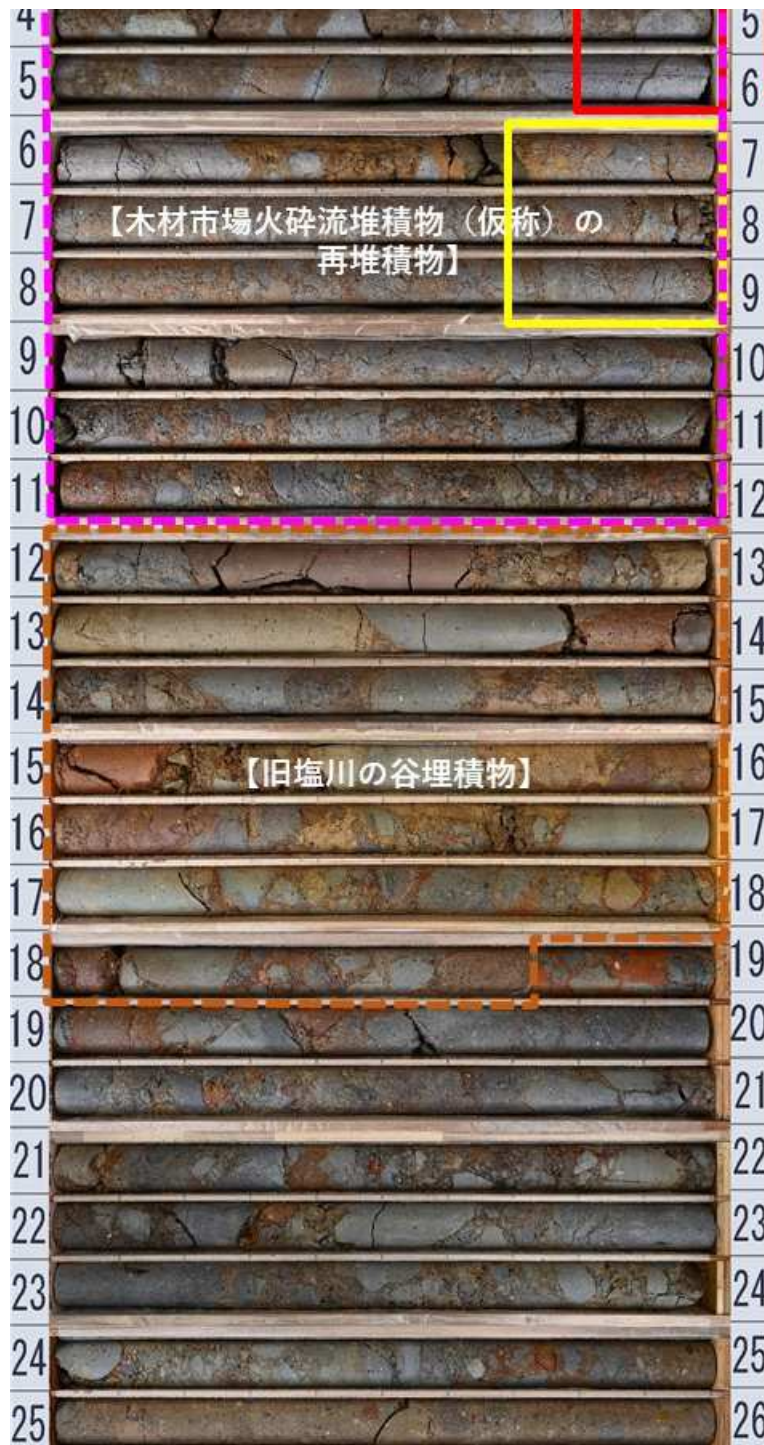
15m 【旧塩川の谷埋積物】
礫種やマトリックスの色などからは、古期扇状地Ⅰ面堆積物に似ているが、礫径が大きくマトリックスが少ない。壺瓶山の南側に小規模に分布し、現塩川の削剥を免れた削り残しの堆積物と考えられる。マトリックスは密実で、**難透水層**と評価。ただし、部分的に隙間があるため、**上下層よりもやや透水的**。

20m 【壺瓶山安山岩の崩積土】
流理構造のある安山岩礫主体。高温酸化された岩片が少ない。No.3孔の安山岩質火砕岩下位の溶岩巨礫に似ていることから、壺瓶山安山岩の崩積土と推定。マトリックスは密実で隙間がなく、**難透水層**と評価。ただし、崩積土という地層の成り立ちから、**上位層・下位層との境界部等に透水ゾーン(水みち)が存在する可能性**。

25m 【未区分火砕岩類】
No.3で確認された未区分火砕岩類に酷似。赤黒い安山岩礫。黄色い軽石様礫等。棒状コアで採取されており、マトリックスは密実で固結しており、割れ目も少なく、**難透水層**と評価。
30m以深で、割れ目が増加するとともに、水位が上昇(最大でGL.+1.25mまで上昇)。地下水が割れ目中に裂か水として存在。

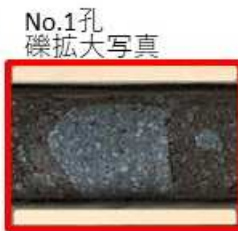
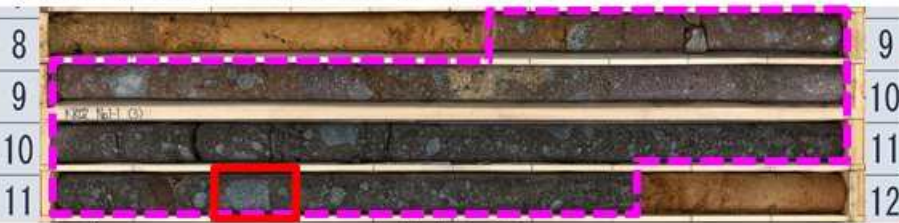
30m

『古期塩川埋積堆積物』と分類



- GL-1.3m~GL-12.0mは、既往Bo (No.1、No.6) で確認した「木材市場火砕流堆積物(仮称)」と類似。
- GL-4m~GL-6mの拡大写真より、既往Bo (No.1、No.6) と同質の溶岩礫種が含まれているが、既往Bo (No.1、No.6) の溶岩礫に比べ風化が進行している。
- GL-6m~GL-9mの拡大写真より、マトリックスは同質の火山灰(少量) + 異質礫。
- このことから、No.12孔GL-1.3m~GL-12.0mでは、「木材市場火砕流堆積物(仮称)」の再堆積物と評価。

No.1孔 GL-9.2~13.0m コア拡大写真

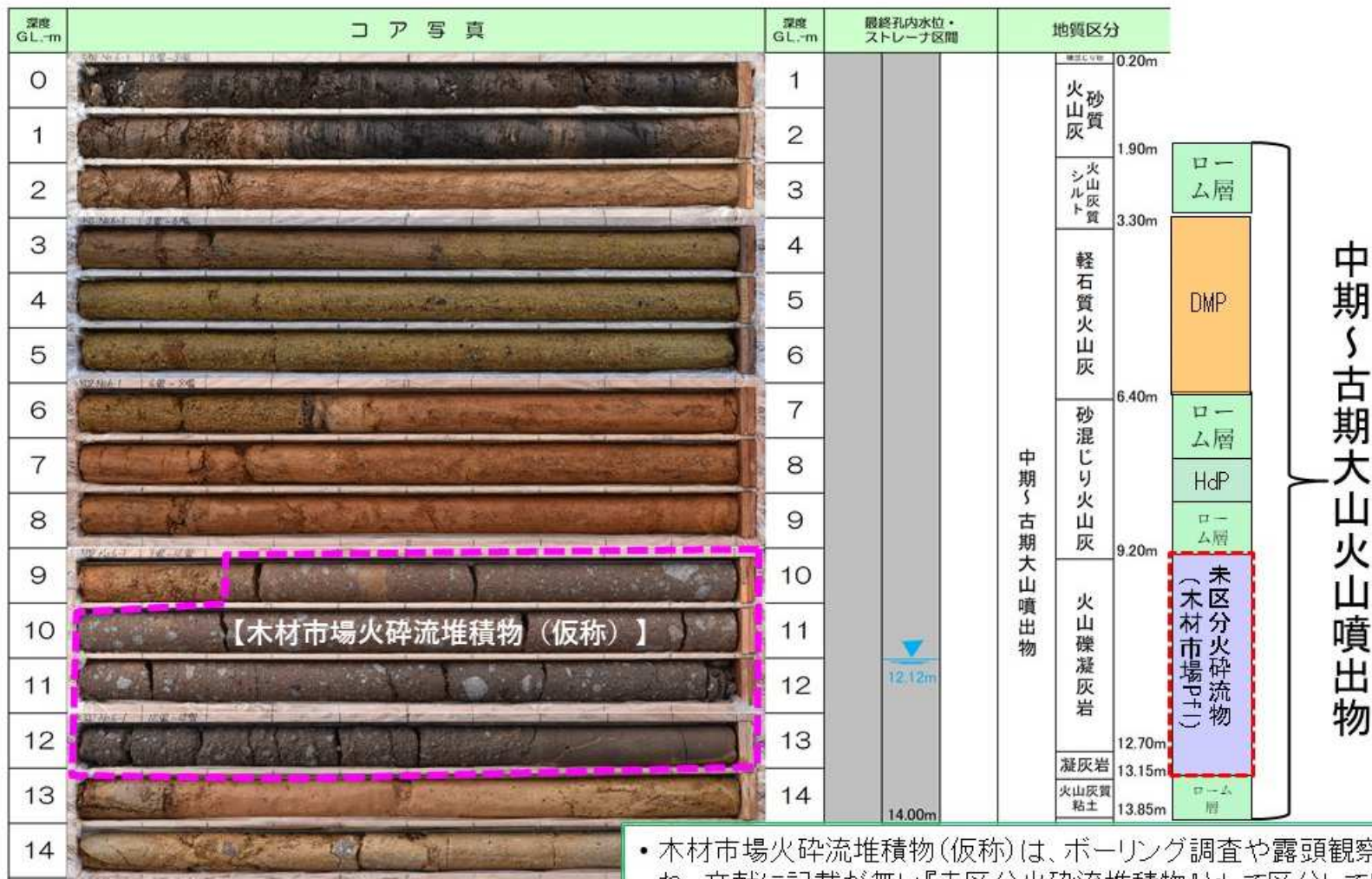


No.6孔 GL-9.2~13.0m コア拡大写真



木材市場火砕流堆積物(仮称)の産状(ボーリングコア No.6)

孔番	KR02-No.6-1	実施年度	令和2年度	※第4回調査会資料p53に加筆
孔口標高	EL. 32.95 m	場所	鳥取県米子市淀江町小波	

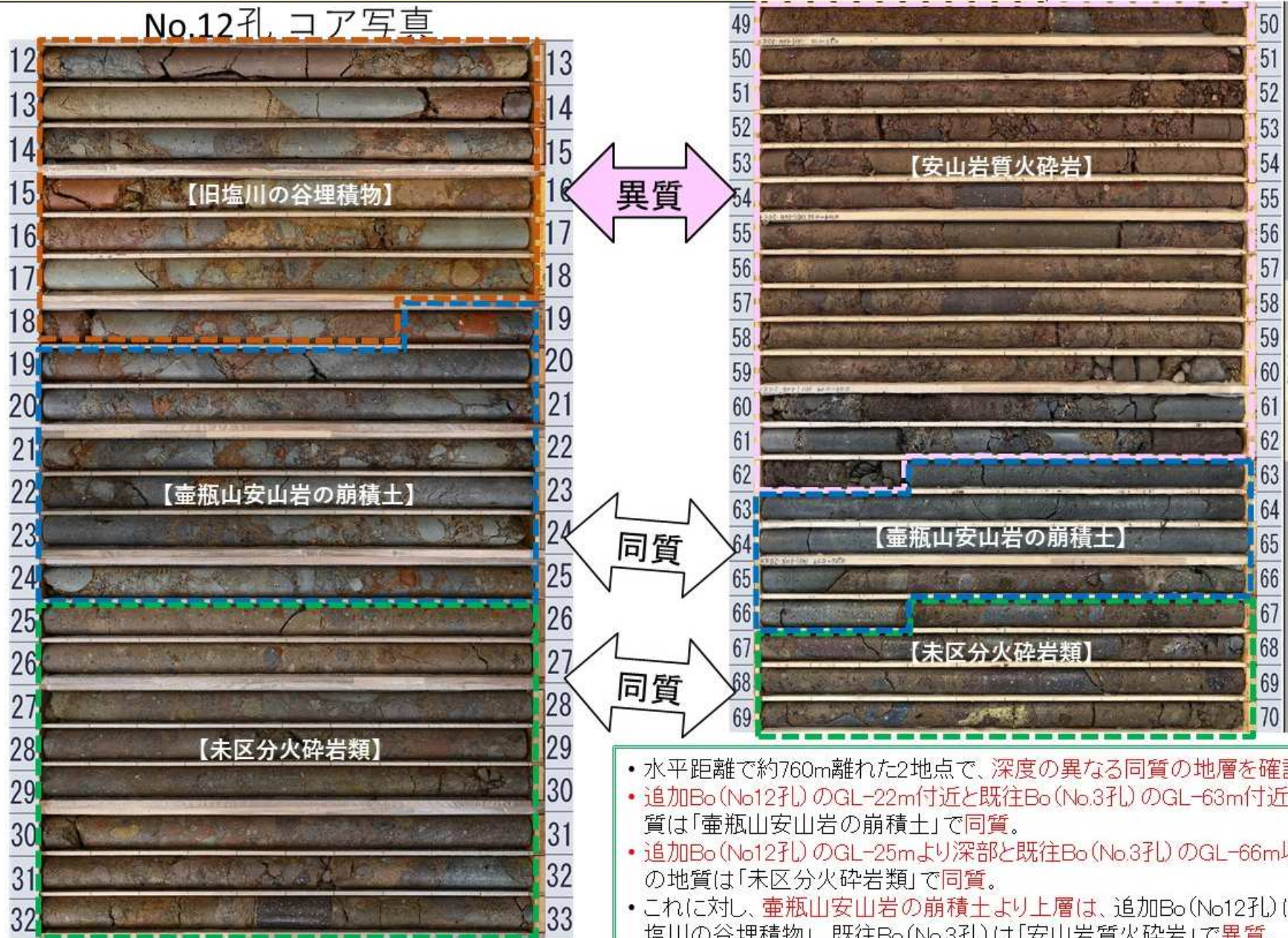


DMP: 大山松江軽石層、HdP: 樋谷軽石層

- 木材市場火砕流堆積物(仮称)は、ボーリング調査や露頭観察で把握され、文献に記載が無い『未区分火砕流堆積物』として区分していたもの。
- 地質平面図・地質断面図上では、分布が小規模なため、『中期～古期大山噴出物』中の火山噴出物の一つとして、一括表記している。

追加Bo調査の結果 ～既往Bo(No.3孔)との対比①～

No.3孔 コア写真



- 水平距離で約760m離れた2地点で、深度の異なる同質の地層を確認。
- 追加Bo(No.12孔)のGL-22m付近と既往Bo(No.3孔)のGL-63m付近の地質は「壺瓶山安山岩の崩積土」で同質。
- 追加Bo(No.12孔)のGL-25mより深部と既往Bo(No.3孔)のGL-66m以深の地質は「未区分火砕岩類」で同質。
- これに対し、壺瓶山安山岩の崩積土より上層は、追加Bo(No.12孔)は「旧塩川の谷埋積物」、既往Bo(No.3孔)は「安山岩質火砕岩」で異質。

追加Bo調査の結果 ～既往Bo(砂防Bo)との対比～

No.12孔 コア写真



No.12孔 GL-21.0～24.0m コア拡大写真



- No.3、No.12で確認した安山岩の崩積土は、周囲に壺瓶山以外の供給源がないことから、壺瓶山由来の安山岩と推定。
- 既往文献では、壺瓶山、本宮、上淀の3地点は同じ無斑晶安山岩とされているが、No.12で確認した安山岩は、地質層序からより古い時代のもものと確認。
- No.12で確認した安山岩は風化が進んでいるものの、砂防事業(本宮地内)の無斑晶安山岩と比べると、やや斑晶があり、流理構造が見られること、堆積年代が異なることから、別の地質と評価。
- 下流側のNo.12の方が、上流側のNo.3より浅い深度に分布。
⇒壺瓶山と本宮・上淀の安山岩は異なる時代のもものと判明。

既往Boコア拡大写真

西原iii BP-1 GL.-8.50～9.00m



本宮i R2-Bor.2 GL.-7.50～8.00m



西原i BP-10 GL.-4.50～5.00m



本宮ii BP-3 GL.-8.50～9.00m



追加Bo調査の結果 ～既往Bo(No.3孔)との対比②～

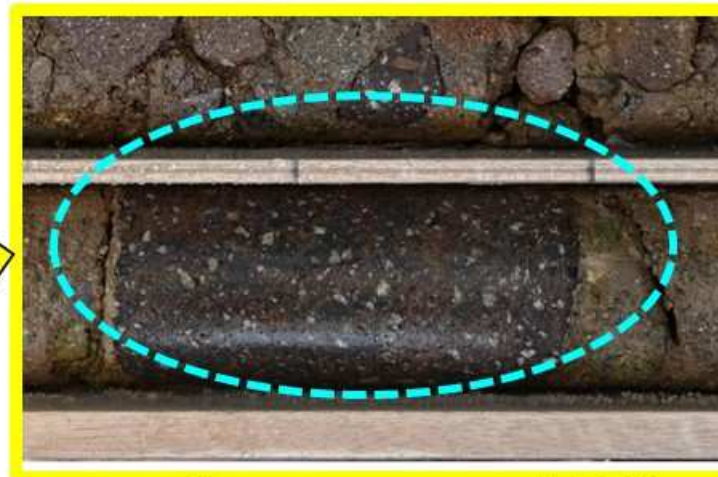
No.12孔 コア写真



【未区分火砕岩類】

- No.12孔GL-32m付近とNo.3孔GL-68m付近に含まれる礫の酸化状況や斑晶、マトリックスが同じであり、**同一の地質と評価**。
- 下流側のNo.12孔の未区分火砕岩類は、上流側のNo.3より浅い深度に分布しており逆勾配。

No.12孔 GL-21.0～24.0m コア拡大写真



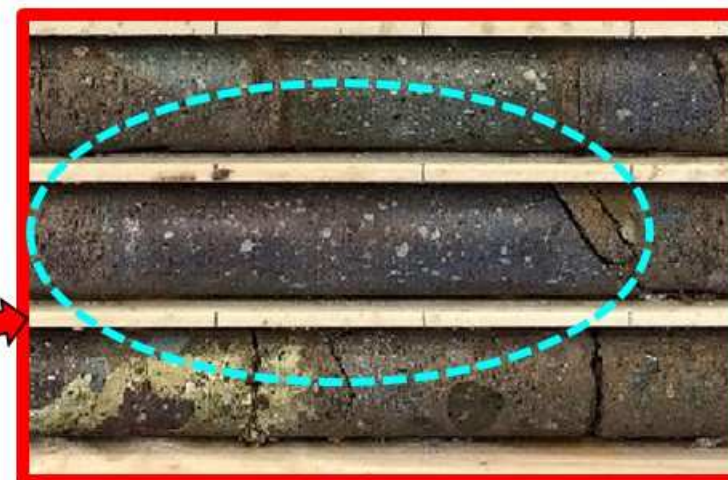
No.3孔 コア写真



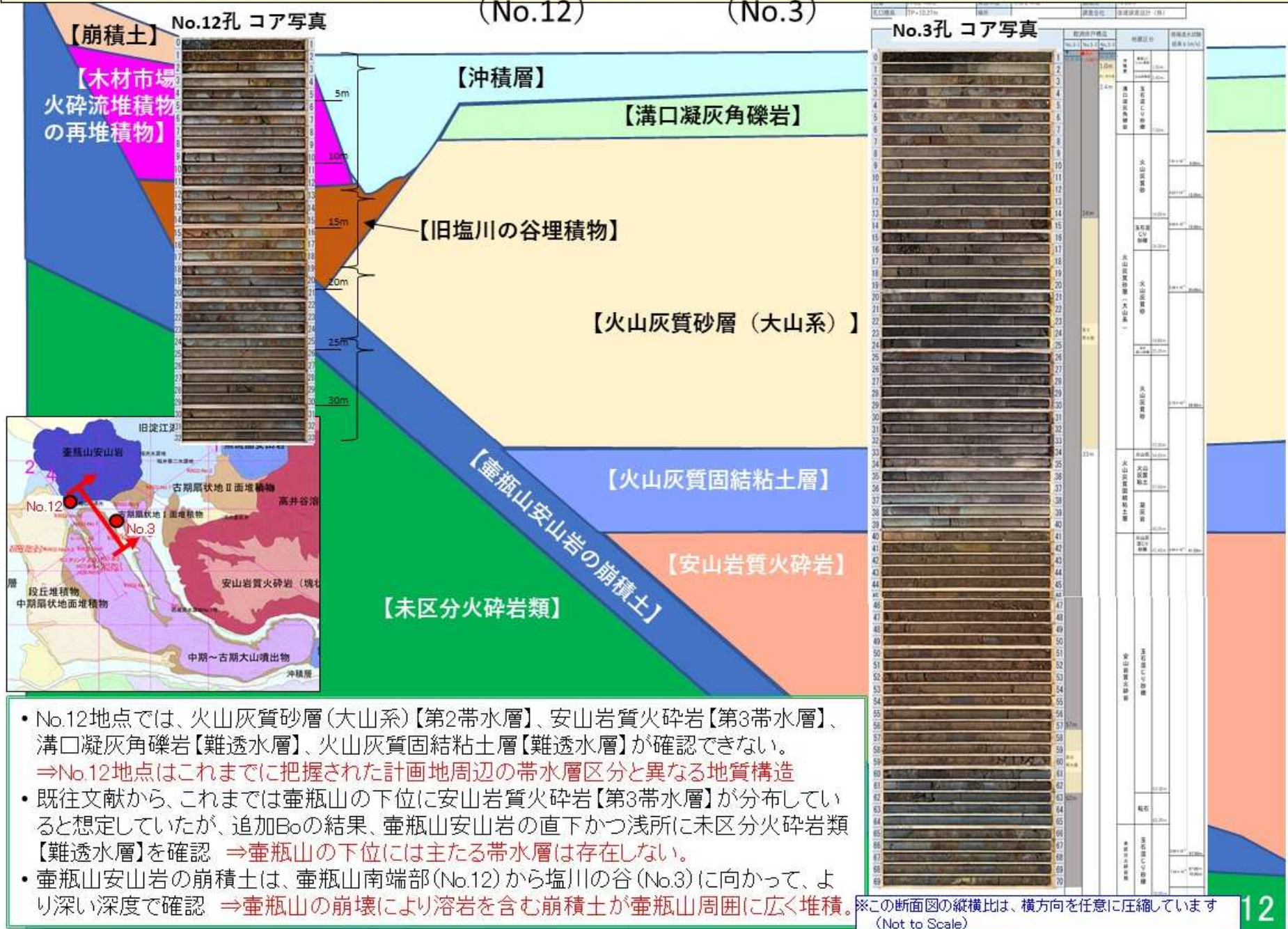
【壺瓶山安山岩の崩積土】

【未区分火砕岩類】

No.12孔 GL-21.0～24.0m コア拡大写真

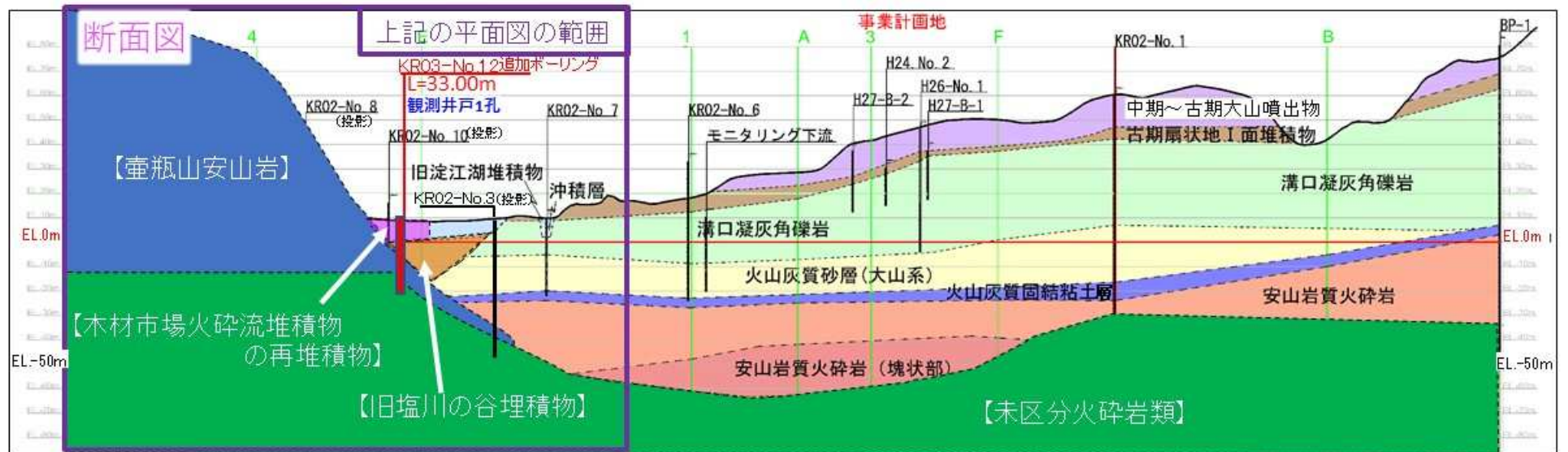
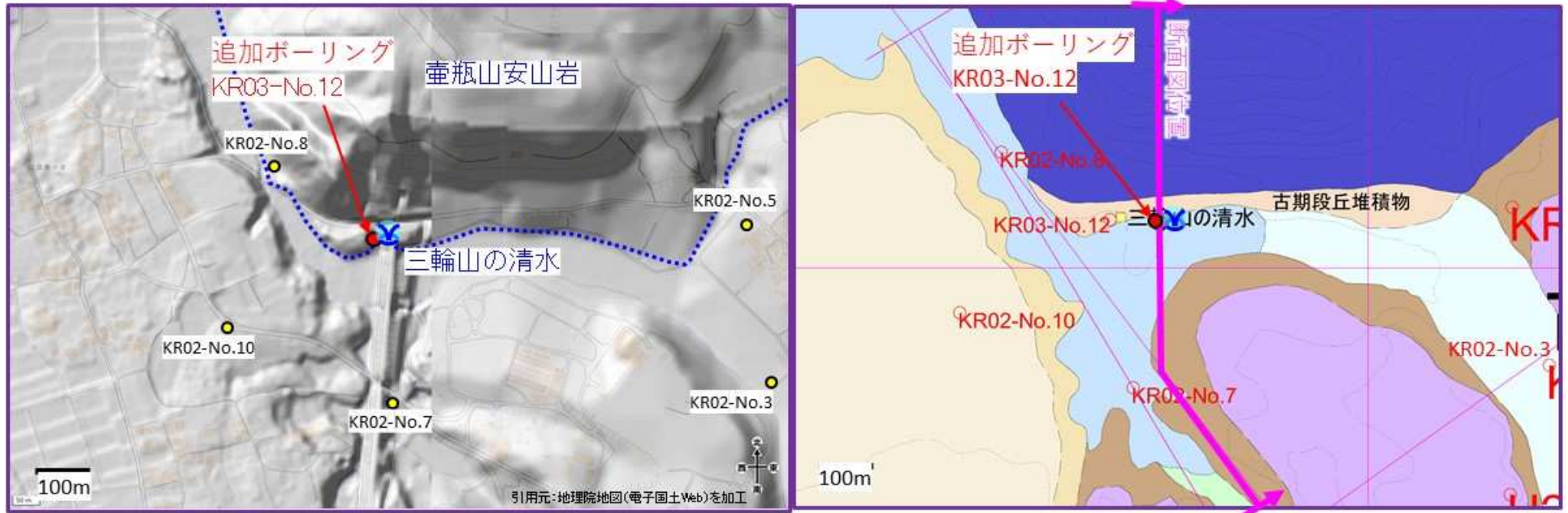


追加Bo調査の結果 ～壺瓶山から塩川の谷の地質断面(概念図)～



- No.12地点では、火山灰質砂層(大山系)【第2帯水層】、安山岩質火砕岩【第3帯水層】、溝口凝灰角礫岩【難透水層】、火山灰質固結粘土層【難透水層】が確認できない。
⇒No.12地点はこれまでに把握された計画地周辺の帯水層区分と異なる地質構造
- 既往文献から、これまでは壺瓶山の低位に安山岩質火砕岩【第3帯水層】が分布していると想定していたが、追加Boの結果、壺瓶山安山岩の直下かつ浅所に未区分火砕岩類【難透水層】を確認 ⇒壺瓶山の低位には主たる帯水層は存在しない。
- 壺瓶山安山岩の崩積土は、壺瓶山南端部(No.12)から塩川の谷(No.3)に向かって、より深い深度で確認 ⇒壺瓶山の崩壊により溶岩を含む崩積土が壺瓶山周囲に広く堆積。

追加B₀調査の結果 ～明らかになった地質構造～



2. 地質総合解析の見直し

解析範囲の地質層序

淀江周辺の地質層序

時代	主なテフラ	地層・岩体	
新第四紀	完新世	海浜堆積物	
		K-Ah: 湯成層 SDSBS YstF 沖積層 崖錐堆積物	
	更新世	Od AT: 新期扇状地 II 面堆積物	
		SK: 新期扇状地 II 面堆積物 横原火砕流堆積物	
	中更新世	DMP: 中期扇状地地面堆積物 名和火砕流堆積物	
		新更新世	HdP: 古期扇状地 II 面堆積物 大山最下部火山灰層
			孝霊山デイサイト (300Ka)*1 古期扇状地 I 面堆積物 溝口凝灰角礫岩層 無斑晶安山岩 (480-460Ka)*1+2 鍋山デイサイト (510-450Ka)*2
	鮮新世	江津層群相当層	
		火山岩類	
		花崗岩	
中生代	福吉岩体		

SDSBS: 砂丘・砂州堆積物, YstF: 最新期扇状地地面堆積物, K-Ah: 鬼界アカホヤ火山灰 (7.3Ka*4), Od: おどり火山砂 (23.34Ka*5), AT: 始良Tn火山灰 (29-26Ka*4), SK: 三瓶木次軽石 (100Ka*3), DMP: 大山松江軽石 (130Ka*3), HdP: 樋谷軽石 (170Ka*3, 淀江軽石), *1: 津久井ほか (1985), *2: Kimura et al. (2003), *3: 木村ほか (1999), *4: 町田・新井 (1992), *5: 倉吉市教育委員会 (1994).

広域の地質区分図 (平面図)



資料出典: 大山山麓西部域の水資源 (H23.3) 米子市水道局 大山山麓西部域の水資源懇談会報告書 (に加筆)

解析範囲の地質層序の見直し

※第8回調査会資料を更新

赤枠：本調査で追加もしくは名称を改変した地質
青字：解析範囲に出現する地質

淀江周辺の地質層序(調査前)

時代	主なテフラ	地層・岩体	
新 生 代	完新世	海浜堆積物	
		K-Ah	湯成層 SDSBS YstF 沖積層 崖錐堆積物
		Od	新期扇状地Ⅱ面堆積物
			新期扇状地Ⅱ面堆積物
	後 期	SK	横原火砕流堆積物
		DMP	中期扇状地堆積物
			名和火砕流堆積物
	中 期	Hdp	古期扇状地Ⅱ面堆積物
			大山最下部火山灰層
		孝霊山デイサイト(300Ka) ^{*1}	
		古期扇状地Ⅰ面堆積物	
		溝口凝灰角礫岩層	
		無斑晶安山岩(480-460Ka) ^{*1*2}	
	鍋山デイサイト(510-450Ka) ^{*2}		
前期	江津層群相当層		
鮮新世			
	中新世	火山岩類	
古第三紀		花崗岩	
中生代		稻吉岩体	

SDSBS：砂丘・砂州堆積物，YstF：最新期扇状地面堆積物，
K-Ah：鬼界アカホヤ火山灰(7.3Ka*4)，Od：おどり火山砂(23.34Ka*5)，
AT：始良Tn火山灰(29-26Ka*4)，SK：三瓶木次軽石(100Ka*3)，
DMP：大山松江軽石(130Ka*3)，Hdp：樋谷軽石(170Ka*3，淀江軽石)，

資料出典：大山山麓西部域の水資源(H23.3) 米子市水道局
大山山麓西部域の水資源懇談会報告書 に加筆

地下水シミュレーション解析範囲の地質層序(見直し後)

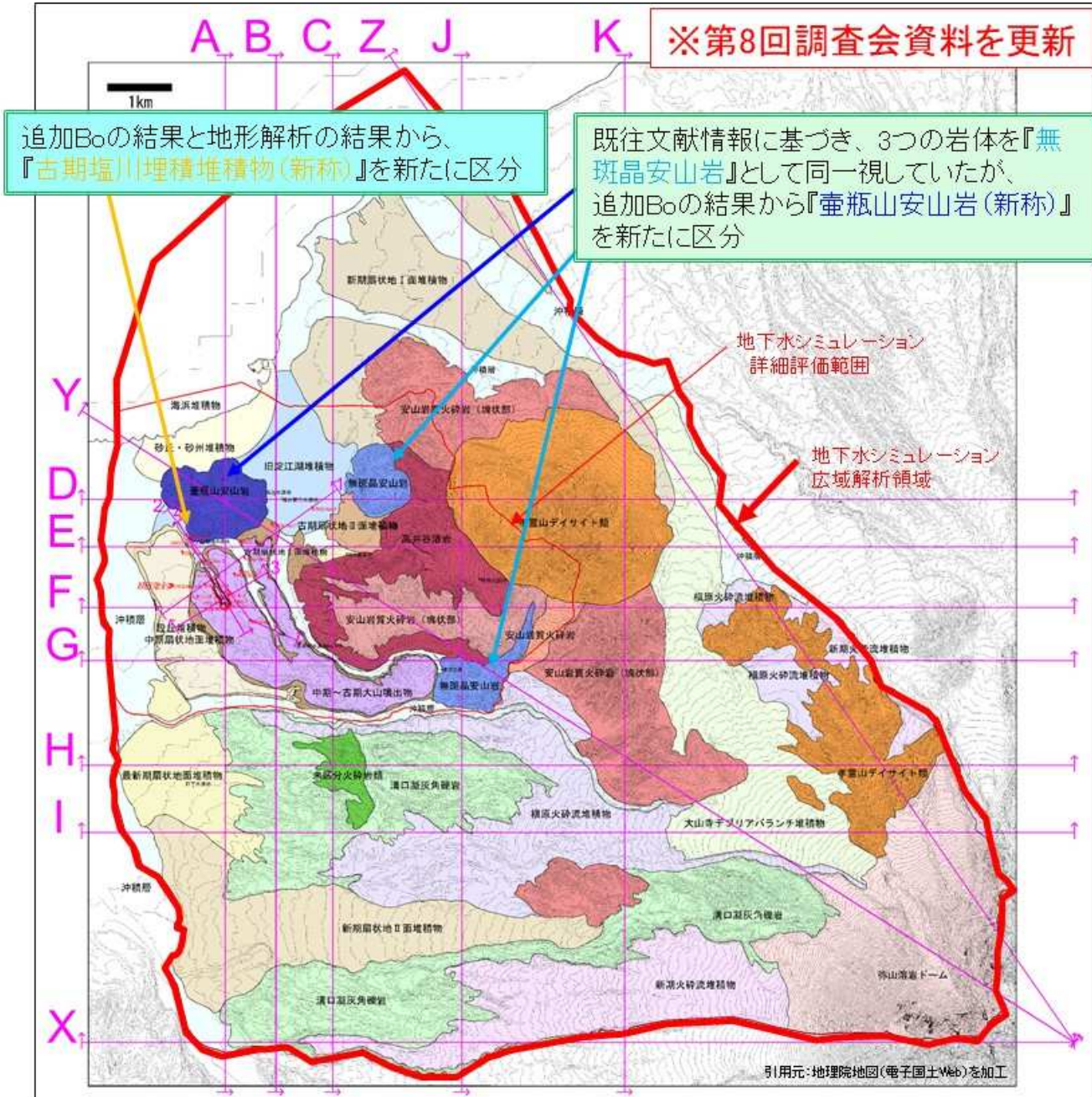
地質時代	主なテフラ	地層・岩体					
		周縁山麓部	山麓近西側台地	事業計画地台地	米子平野	塩川谷地 淀江平野	
新 生 代	完新世	K-Ah	海浜堆積物			海浜堆積物	沖積層
		Od	沖積層			旧淀江湖堆積物	沖積層
			YstF			SDSBS	YstF
		後 期	AT	段丘堆積物			
	SKP		新期扇状地Ⅱ面堆積物				新期扇状地Ⅰ面堆積物
			新期火砕流堆積物				
	中 期	DMP	中期扇状地Ⅱ面堆積物			火山灰質砂礫層(口野川系)	
			中期扇状地Ⅱ面堆積物			中期扇状地Ⅱ面堆積物	
		Hdp	中期～古期火山噴出物			塩川古期堆積物	古期扇状地Ⅱ面堆積物
			孝霊山デイサイト型				
	更 新 世	前期	古期扇状地Ⅰ面堆積物				
			溝口凝灰角礫岩				
		中期	火山灰質砂層(大山系)				
			火山灰質固結粘土層				
鮮新世		無斑晶安山岩					
		高井谷溶岩					
鮮新世		安山岩質火砕岩					
		安山岩質火砕岩(塊状部)					
古第三紀	鮮新世	壺瓶山安山岩					
		江津層群相当層					
	中新世	未区分火砕岩類					
		火山岩類					
中生代		花崗岩類					
		稻吉岩体					

SDSBS：砂丘・砂州堆積物，YstF：最新期扇状地面堆積物，DDA：大山寺デブリアバランテ堆積物
K-Ah：鬼界アカホヤ火山灰(7.3Ka)，Od：おどり火山砂(23.34Ka)
AT：始良丹沢火山灰(29-26Ka)，SKP：三瓶木次軽石(100Ka)
DMP：大山松江軽石(130Ka)，Hdp：樋谷軽石(170Ka，淀江軽石)
無斑晶安山岩(480-460Ka)，壺瓶山安山岩(510-450Ka)

地質平面図の見直し

凡例

地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地面堆積物		
	段丘堆積物		
	大山寺デブリアバラランチ堆積物		
	弥山溶岩ドーム		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
新期 【追加】	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	榎原火砕流堆積物		
	火山灰質砂礫層(日野川系)		
	中期扇状地面堆積物		
	古期塩川埋積堆積物		
	中期～古期大山噴出物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	孝霊山デザインサイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
中期	火山灰質砂礫(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	無斑晶安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
	安山岩質火砕岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
	前期	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩	



※第8回調査会資料を更新

追加Boの結果と地形解析の結果から、『古期塩川埋積堆積物(新称)』を新たに区分

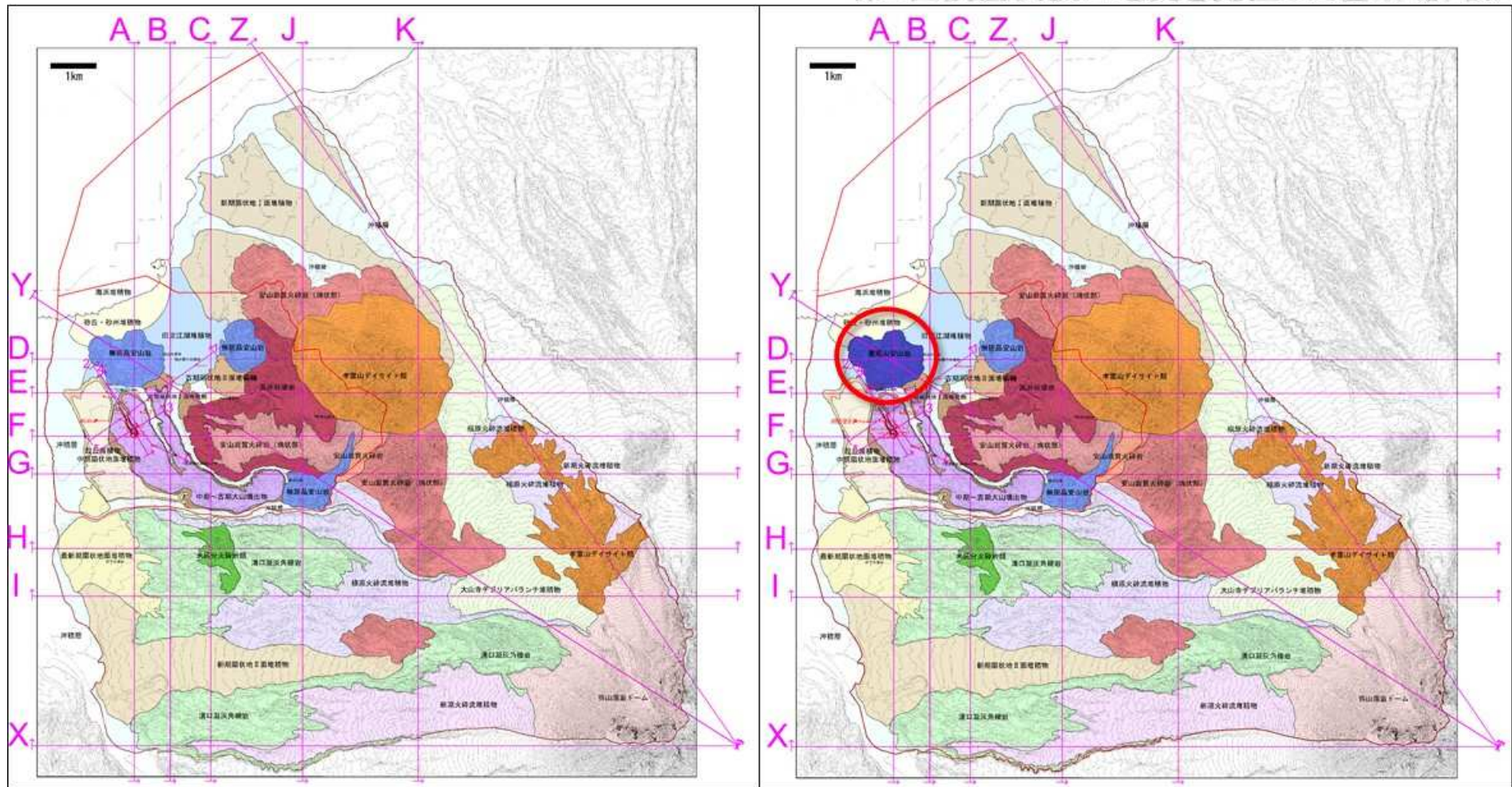
既往文献情報に基づき、3つの岩体を『無斑晶安山岩』として同一視していたが、追加Boの結果から『壺瓶山安山岩(新称)』を新たに区分



地質平面図の見直し ～見直し前後の比較～

既往文献情報に基づき、3つの岩体を『無斑晶安山岩』として同一視していたが、追加Boの結果から『壺瓶山安山岩(新称)』を新たに区分

第8回調査会後に地質を見直した箇所(詳細)



見直し前(第8回調査会)

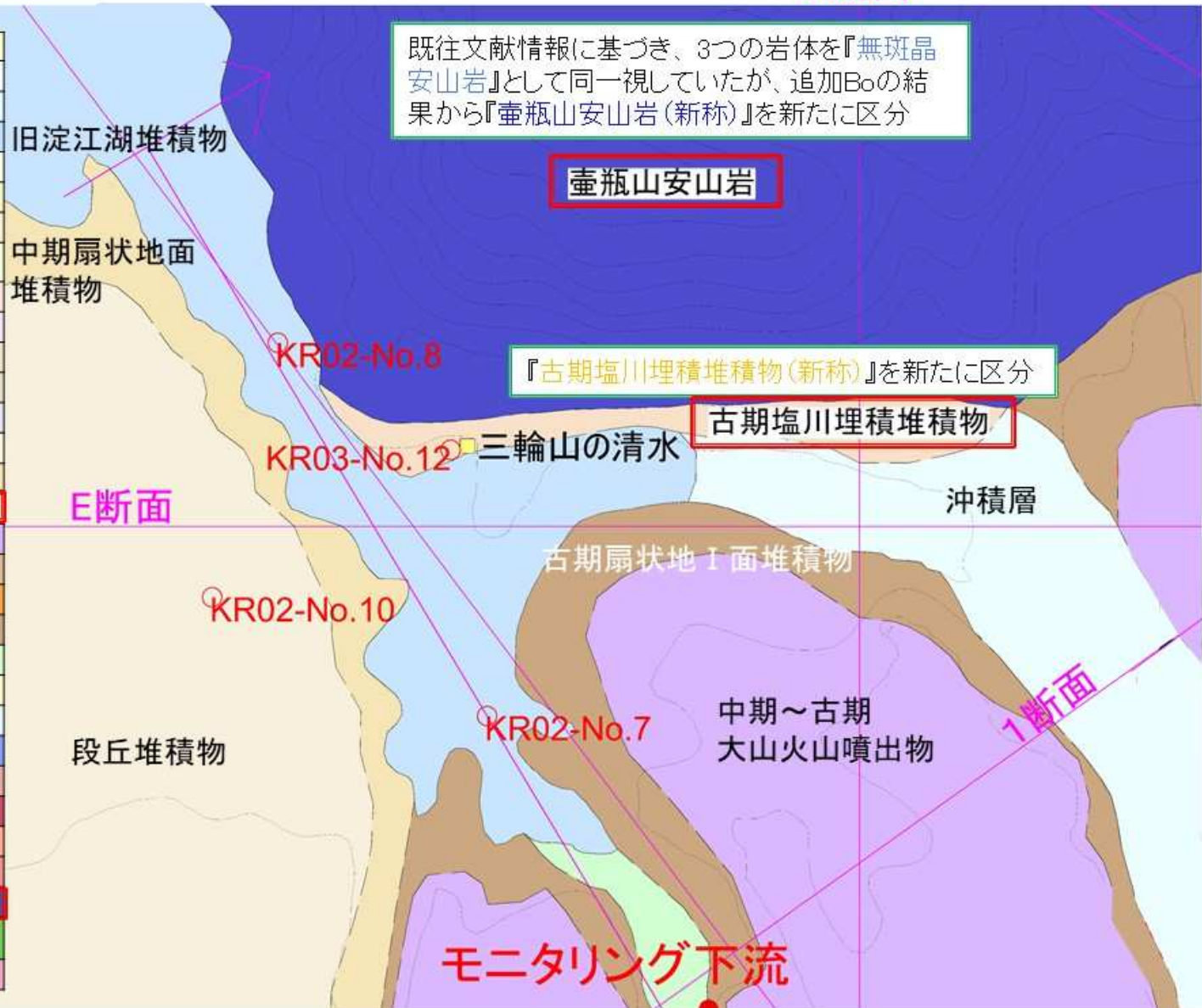
見直し後

第8回調査会後に地質を見直した箇所(詳細)

地質平面図の見直し(拡大)

A断面

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
【追加】 第四紀	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地面堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口湖灰角礫岩	
中期	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
【追加】	壺瓶山安山岩	
前期	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



既往文献情報に基づき、3つの岩体を『無斑晶安山岩』として同一視していたが、追加Boの結果から『壺瓶山安山岩(新称)』を新たに区分

壺瓶山安山岩

『古期塩川埋積堆積物(新称)』を新たに区分

古期塩川埋積堆積物

【追加】

E断面

1断面

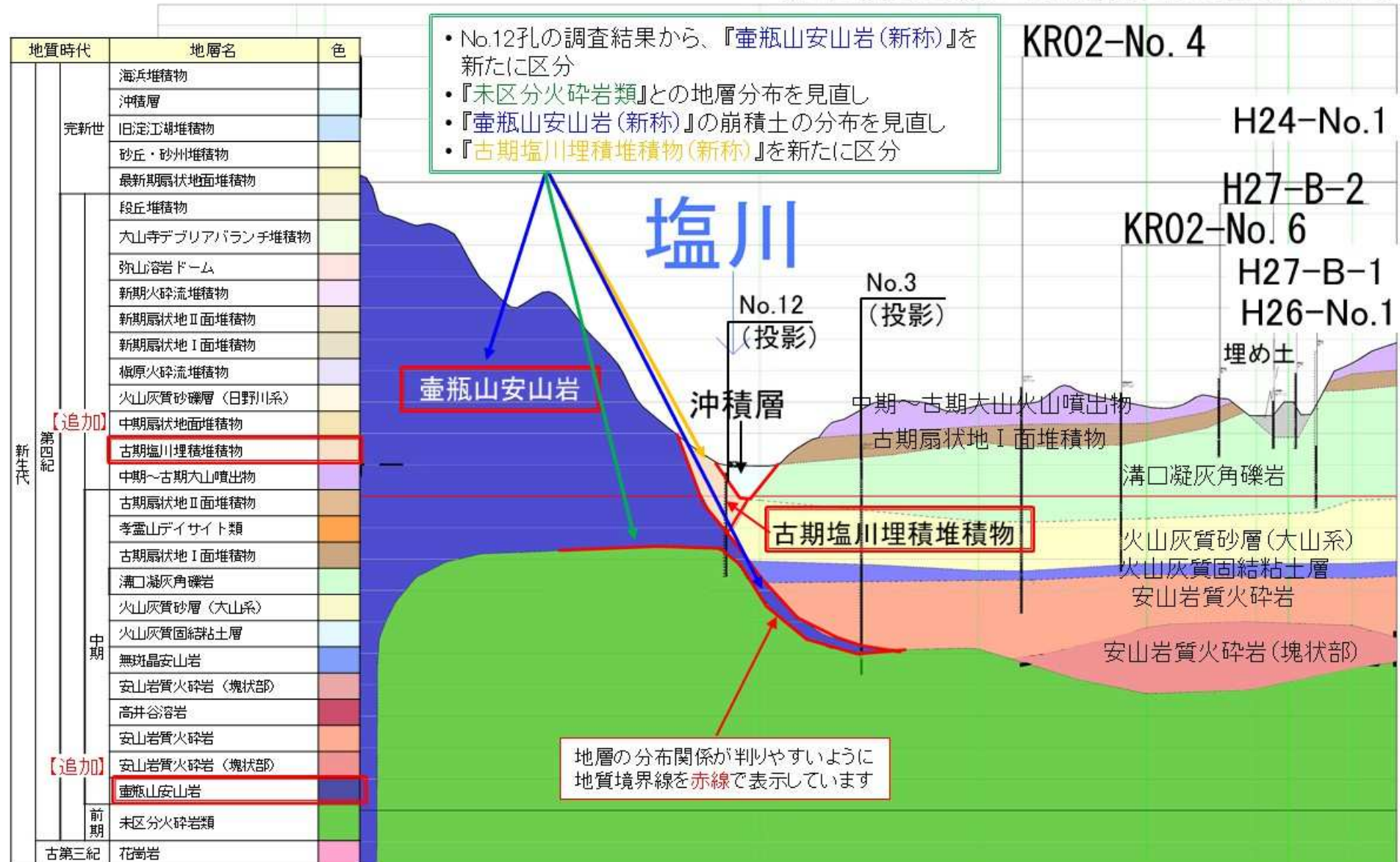
【追加】

モニタリング下流



地質断面図の見直し(拡大)

第8回調査会後に地質を見直した箇所(A断面)

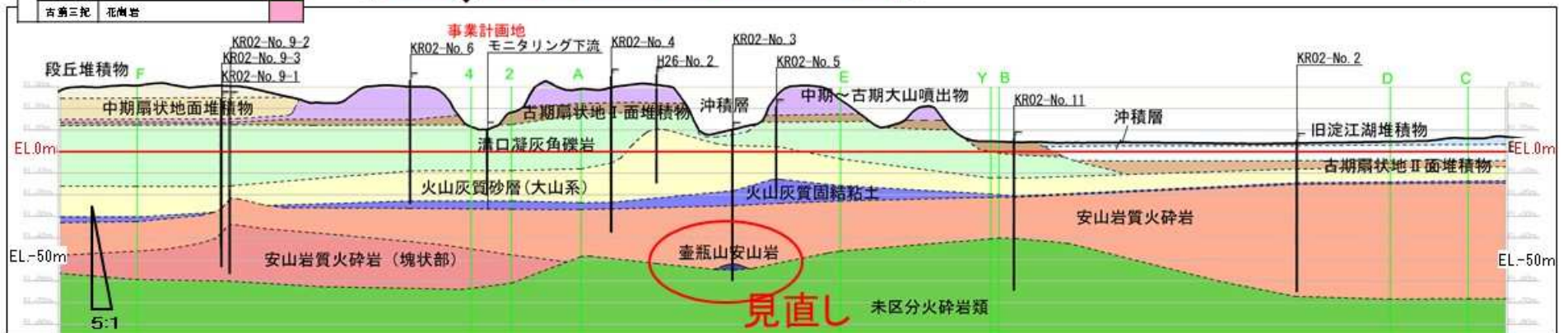
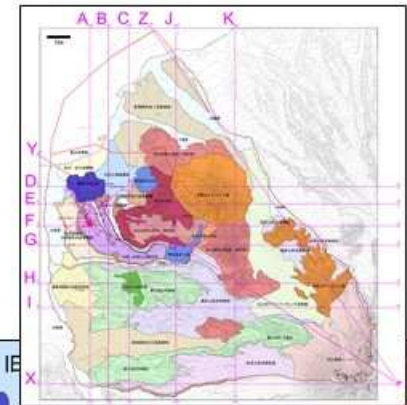
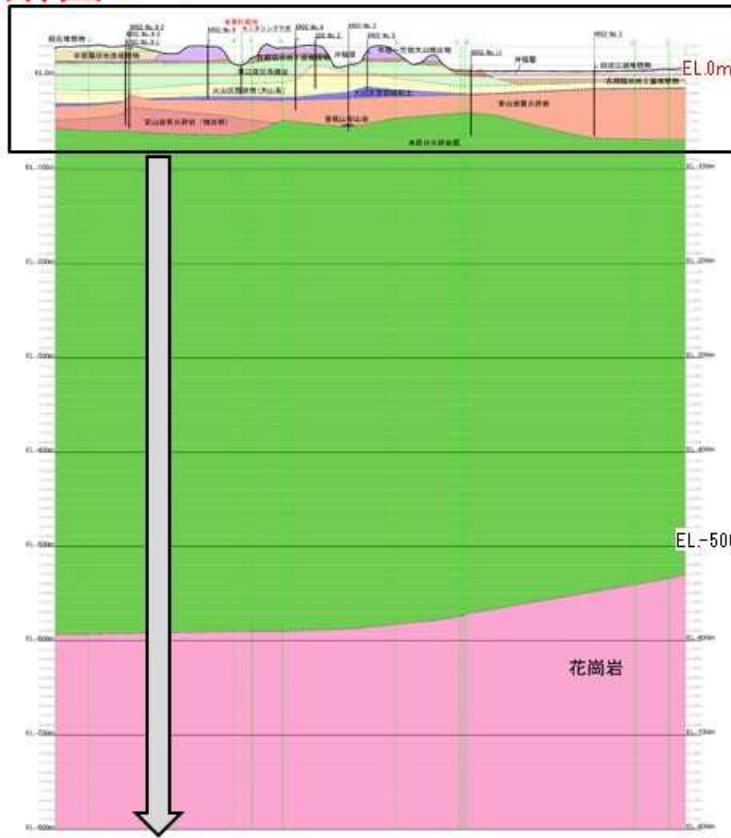


地質断面図

地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地面堆積物		
	段丘堆積物		
	大山ネデリアバラン手堆積物		
	弥山溶岩ドーム		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
第四紀	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	撫養火砕流堆積物		
	火山灰質砂礫層(日野川系)		
	中期扇状地面堆積物		
	古期塩川埋積堆積物		
	中期～古期大山噴出物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	孝聖山デイスイト類		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	溝口凝灰角礫岩		
中期	火山灰質砂層(大山系)		
	火山灰質固結粘土層		
	黒斑壺安山岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	高井谷溶岩		
	安山岩質火砕岩		
	安山岩質火砕岩(塊状部)		
	壺瓶山安山岩		
	前期	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩	

断面1

『壺瓶山安山岩』の崩積土の地質分布を見直し

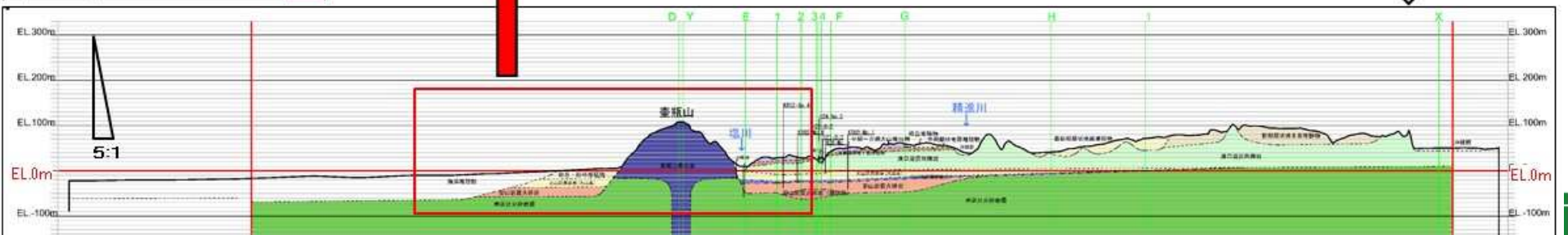
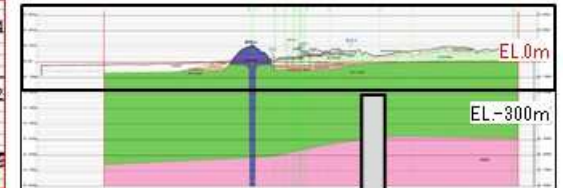
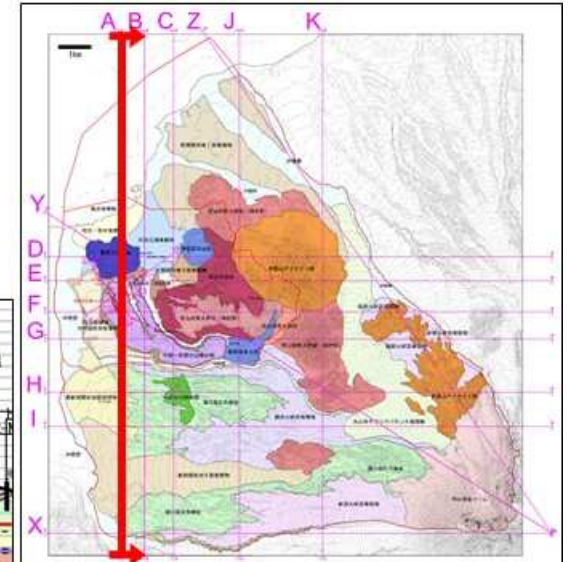
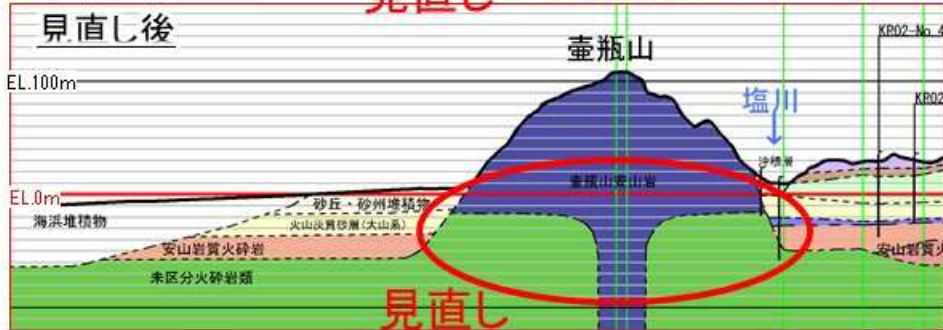
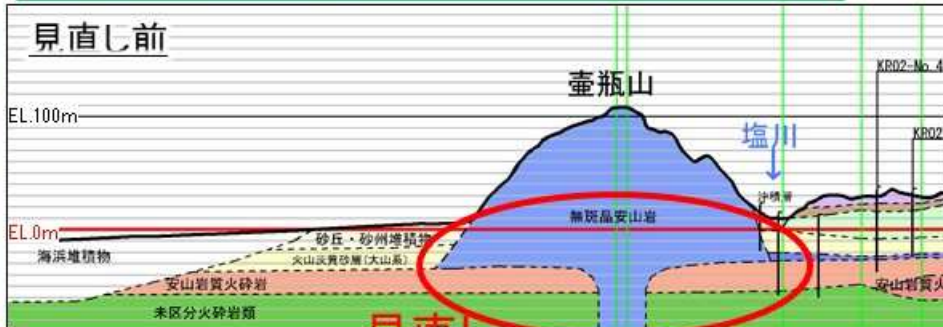


地質断面図の見直し

断面A

地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧湖沼堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
	扇状地堆積物	
	大山寺テプリアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地II面堆積物	
第四紀	新期扇状地I面堆積物	
	板原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(田野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	海浜堆積物	
	安山岩質火砕岩	
	未区分火砕岩類	
	中期-古期大山噴出物	
	古期扇状地II面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地I面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
壺瓶山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩

- No.12孔の調査結果から、『無斑晶安山岩』を『壺瓶山安山岩(新称)』に見直し
- 『安山岩質火砕岩』『壺瓶山安山岩』『未区分火砕岩類』の地質分布を見直し
- 『古期塩川埋積堆積物』を追加

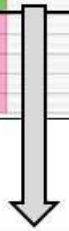
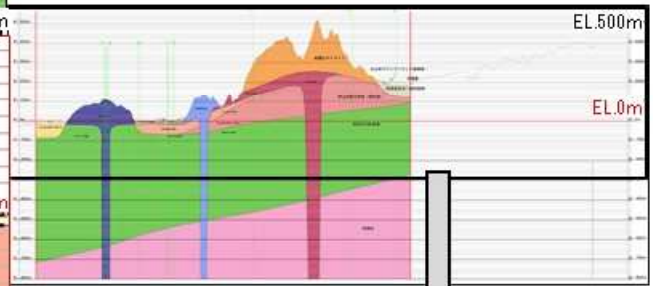
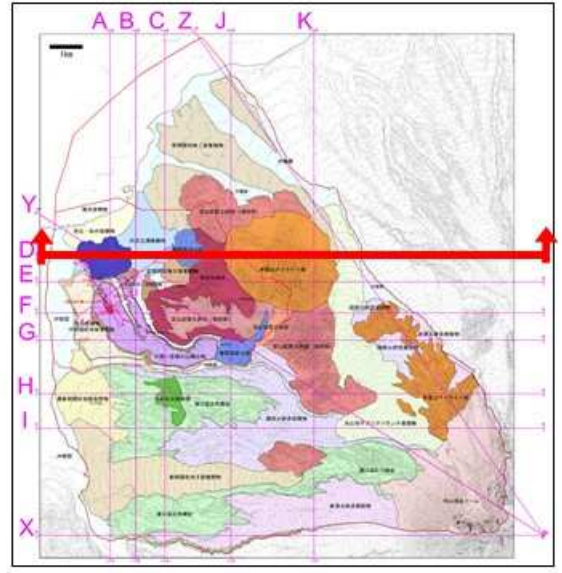
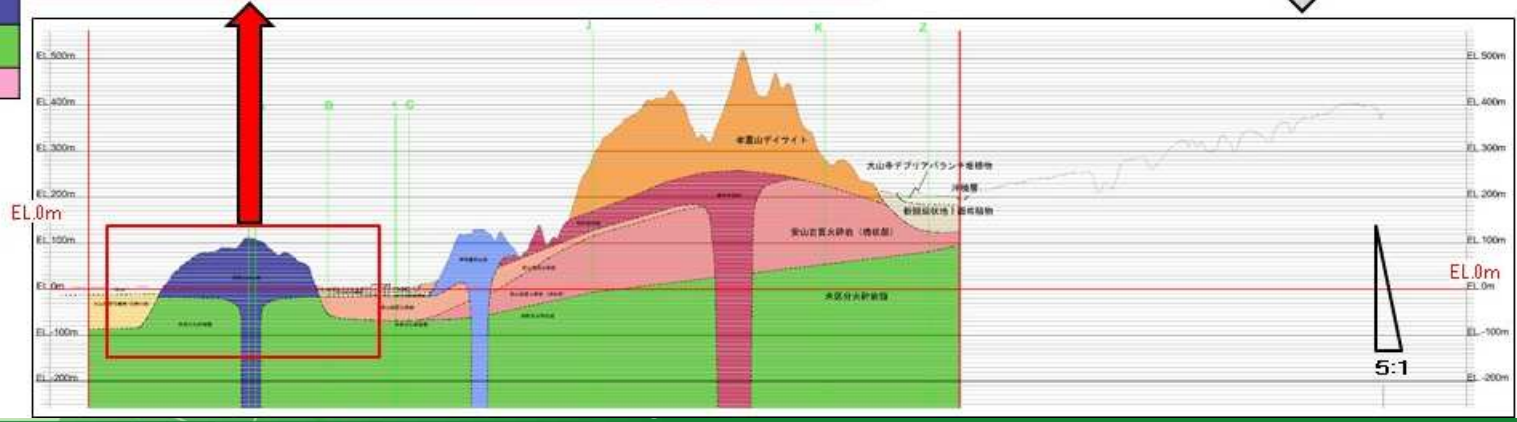
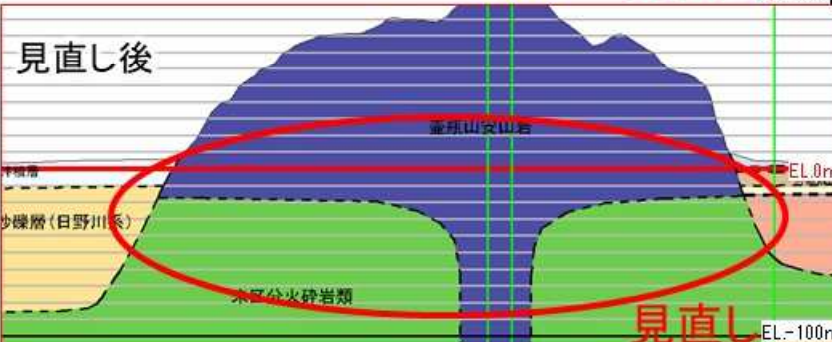
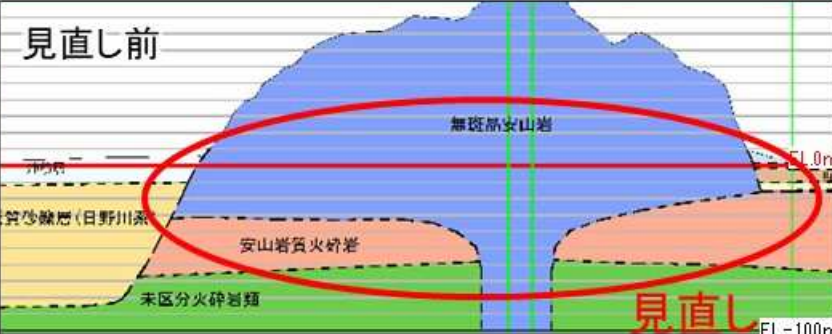


地質断面図の見直し

断面D

地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地面堆積物		
第四紀 新世代	段丘堆積物		
	大山寺デブリアバランチ堆積物		
	弥山溶岩ドーム		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	横原火砕流堆積物		
	火山灰質砂礫層 (日野川系)		
	中期扇状地面堆積物		
	古期塩川埋積堆積物		
	中期～古期大山噴出物		
	中期	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
		孝霊山デイスイト類	
		古期扇状地Ⅰ面堆積物	
		溝口段灰角礫岩	
		火山灰質砂層 (大山系)	
		火山灰質固結粘土層	
		無斑晶安山岩	
安山岩質火砕岩 (塊状部)			
高井谷溶岩			
安山岩質火砕岩			
安山岩質火砕岩 (塊状部)			
壺瓶山安山岩			
前期	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		

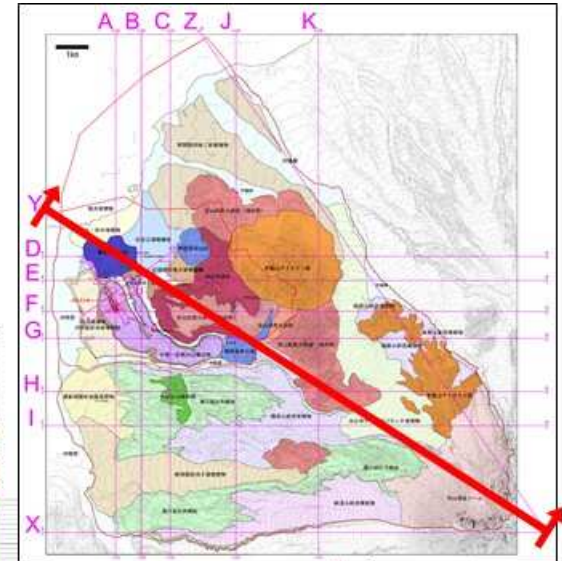
- No.12孔の調査結果から、『無斑晶安山岩』を『壺瓶山安山岩 (新称)』に見直し
- 『安山岩質火砕岩』『壺瓶山安山岩』『未区分火砕岩類』の地質分布を見直し



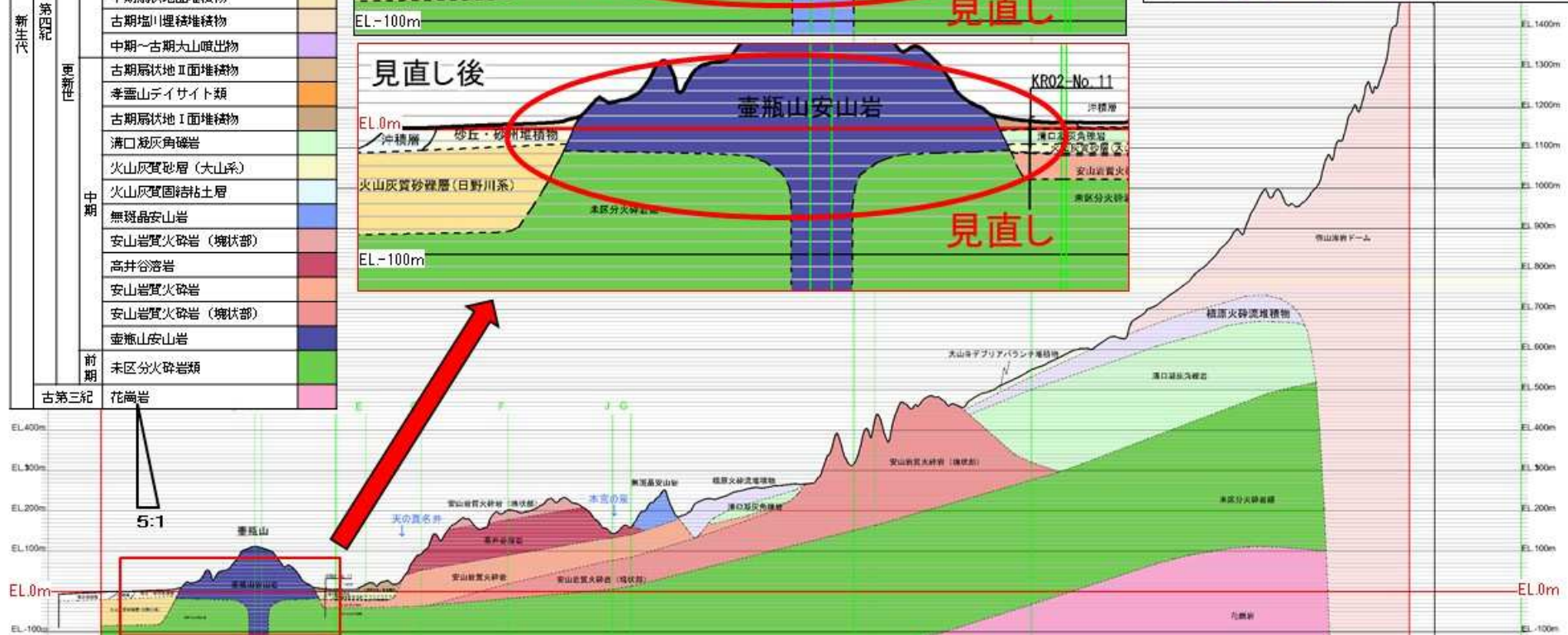
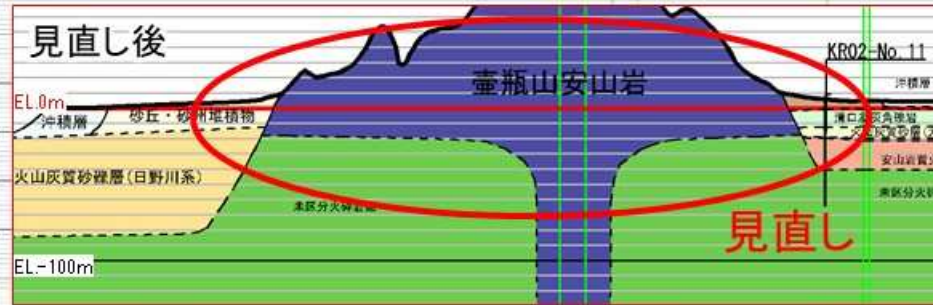
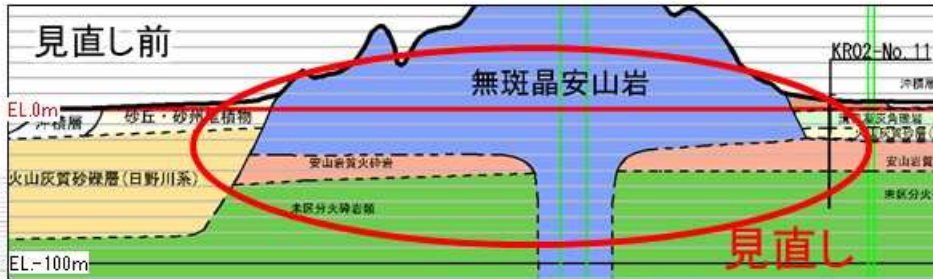
地質断面図の見直し

断面Y

- No.12孔の調査結果から、『無斑晶安山岩』を『壺瓶山安山岩(新称)』に見直し
- 『安山岩質火砕岩』『壺瓶山安山岩』『未区分火砕岩類』の地質分布を見直し



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧淀江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地面堆積物	
後期	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	扇状堆積物	
	大山寺テフラアバランチ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	横原火砕流堆積物	
	中期扇状地面堆積物	
	古期崖川埋積堆積物	
	中期～古期火山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
中期	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
	安山岩質火砕岩	
前期	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	壺瓶山安山岩	
	未区分火砕岩類	
古第三紀	花崗岩	



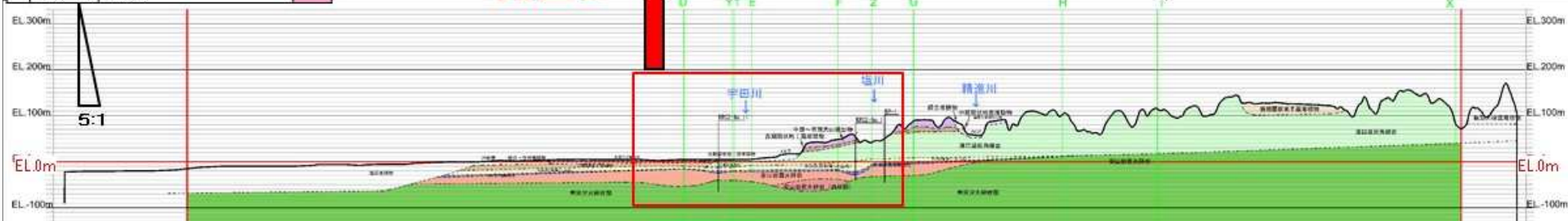
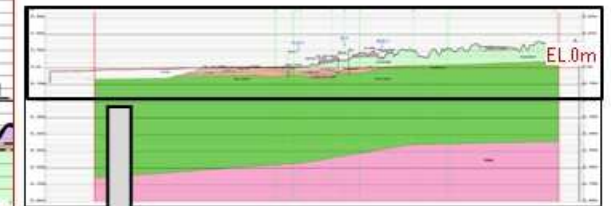
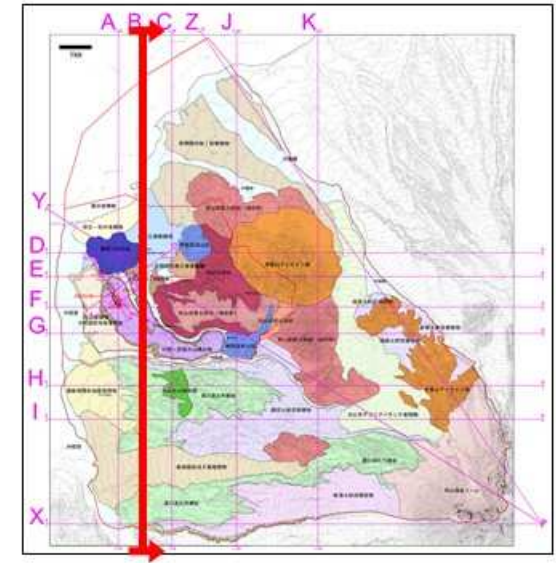
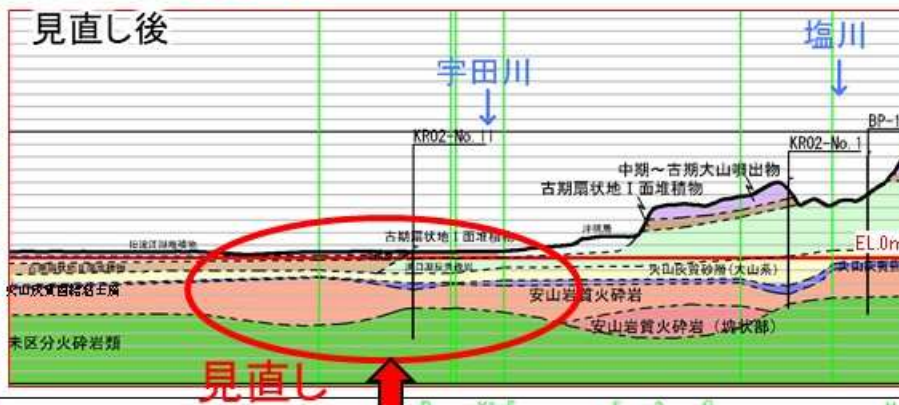
5:1

地質断面図の見直し

断面B

- 『火山灰質固結粘土層』『安山岩質火砕岩』の分布を、
水源地のボーリング調査データにより見直し

地質時代	地層名	色	
完新世	海浜堆積物		
	沖積層		
	旧淀江湖堆積物		
	砂丘・砂州堆積物		
	最新期扇状地堆積物		
新石器	段丘堆積物		
	大山寺デブリアバラランチ堆積物		
	弥山溶岩ドーム		
	新期火砕流堆積物		
	新期扇状地Ⅱ面堆積物		
	新期扇状地Ⅰ面堆積物		
	横原火砕流堆積物		
	火山灰質砂礫層(日野川系)		
	中期扇状地堆積物		
	古期扇状地Ⅱ面堆積物		
	古期扇状地Ⅰ面堆積物		
	中期～古期大山噴出物		
	中期	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
		孝霊山デイサイト類	
		古期扇状地Ⅰ面堆積物	
		溝口凝灰角礫岩	
		火山灰質砂層(大山系)	
火山灰質固結粘土層			
無斑晶安山岩			
安山岩質火砕岩(塊状部)			
高井谷溶岩			
安山岩質火砕岩			
安山岩質火砕岩(塊状部)			
前期	壺瓶山安山岩		
	未区分火砕岩類		
古第三紀	花崗岩		



火山灰質砂礫層(日野川系)の分布および基底面の修正

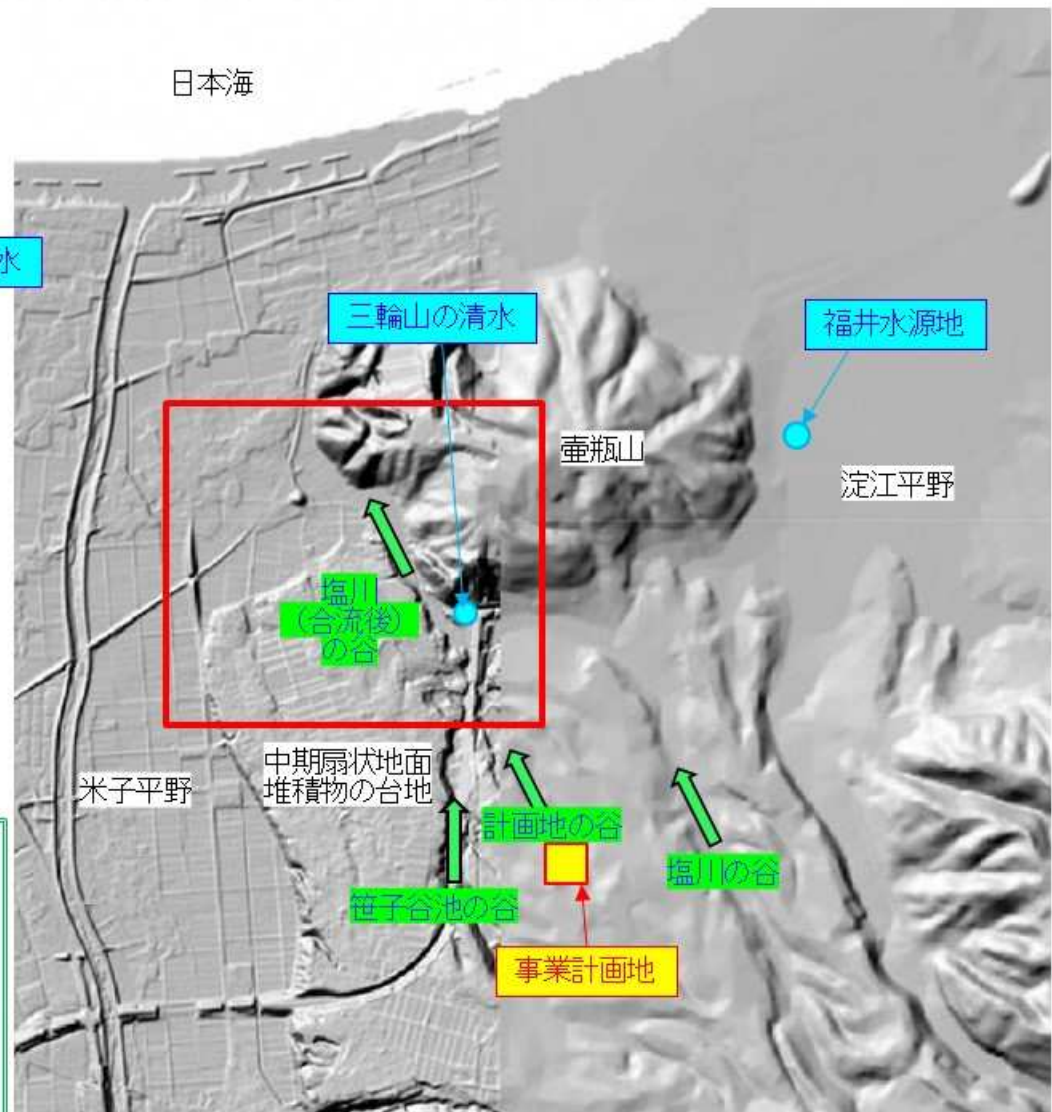


火山灰質砂礫層(日野川系)の底面標高線図

〰️ : 火山灰質砂礫層(日野川系)の底面標高線

● No.0 : ボーリング調査地点

- No.8のボーリング調査の結果、火山灰質砂礫層(日野川系)の堆積物は、塩川(合流後)の谷の中に堆積しており、No.10から、中期扇状地面堆積物の台地には分布しない。このことから、火山灰質砂礫層(日野川系)の堆積物は、古期塩川埋積堆積物より新しく、沖積層より古い堆積層であると考えられる。
- 火山灰質砂礫層(日野川系)の堆積物は、No.7、No.12には分布しないことから、その分布域は、上図の底面標高線図(コンター図)に示す分布と考えられる。



調査地周辺の地形図(印影起伏図)

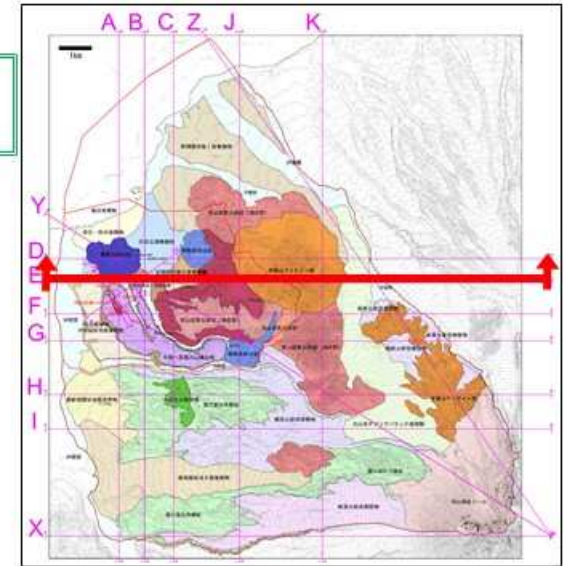
引用元:地理院地図(電子国土Web)を加工

鳥取県加茂産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査
第9回会議(令和4年7月2日)資料

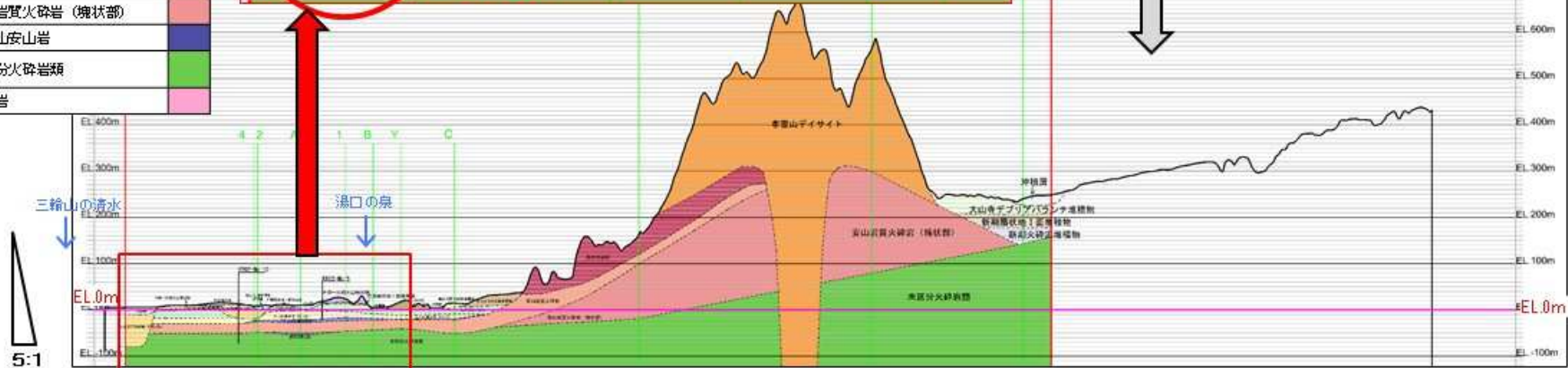
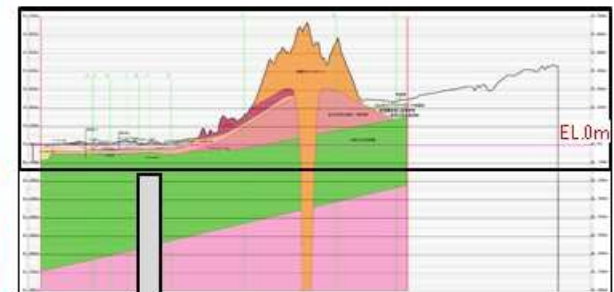
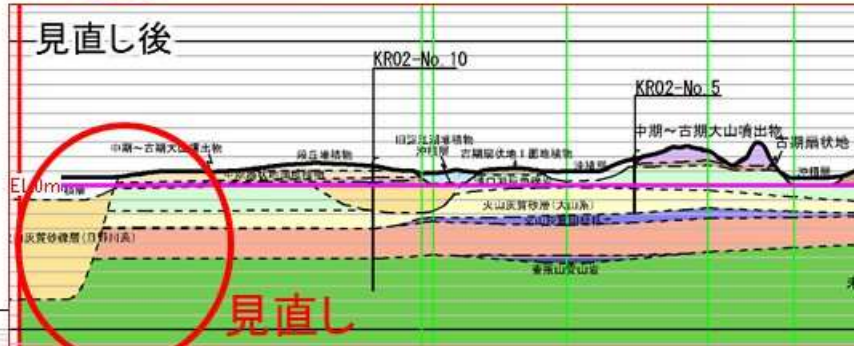
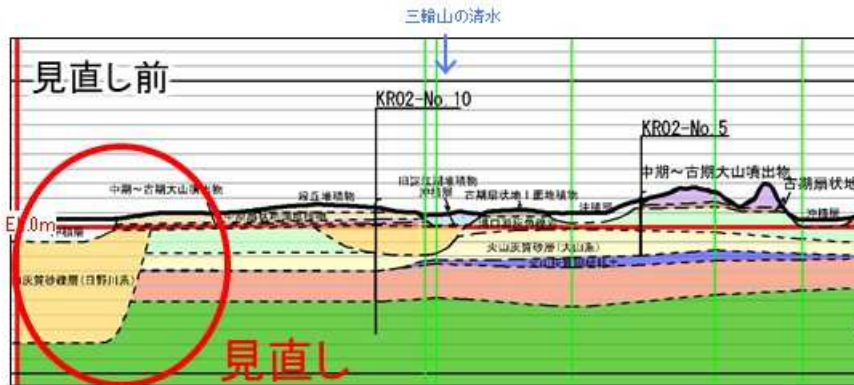
地質断面図の見直し

断面E

・『火山灰質砂礫層(日野川系)』の分布を、地質時代の見直しにより修正



地質時代	地層名	色
完新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧定江湖堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺デブリアパンテ堆積物	
	弥山溶岩ドーム	
	新期火砕流堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
新第三紀	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	板原火砕流堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝霊山チイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	溝口凝灰角礫岩	
	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質固結粘土層	
	無珪晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷溶岩	
安山岩質火砕岩		
安山岩質火砕岩(塊状部)		
壺淵山安山岩		
前期	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩



地質断面図の見直し

断面F

『火山灰質砂礫層(日野川系)』の分布を、地質時代の見直しにより修正

地質時代	地層名	色
先新世	海浜堆積物	
	沖積層	
	旧陸江割堆積物	
	砂丘・砂州堆積物	
	最新期扇状地堆積物	
	段丘堆積物	
	大山寺デブリアバランチ堆積物	
	弥山落着ドーム	
	新期火砕成堆積物	
	新期扇状地Ⅱ面堆積物	
第四紀	新期扇状地Ⅰ面堆積物	
	標原火砕成堆積物	
	火山灰質砂礫層(日野川系)	
	中期扇状地堆積物	
	古期塩川埋積堆積物	
	中期～古期大山噴出物	
	古期扇状地Ⅱ面堆積物	
	孝靈山デイサイト類	
	古期扇状地Ⅰ面堆積物	
	頂口凝灰角礫岩	
中期	火山灰質砂層(大山系)	
	火山灰質団結粘土層	
	無斑晶安山岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	高井谷落着	
	安山岩質火砕岩	
	安山岩質火砕岩(塊状部)	
	蘆荻山安山岩	
前期	未区分火砕岩類	
	古第三紀	花崗岩

